

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00636）

事務事業名称		オリンピック・パラリンピックの推進				款	03	項	01	目	01	事業	018	整理番号	072	
現担当課名		文化・交流課		係名		オリンピック・パラリンピック		連絡先電話番号		3773		昨年度整理番号		072		
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		臨時事業		
事務事業の概要	事業開始	平成26年度	実行計画事業		目標	05	施策	29	計画事業		06	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成29年度担当課名	文化・交流課										事業評価区分		一般		
	対象	区民			根拠法令等		(1)		杉並区2020東京オリンピック・パラリンピック庁内連絡調整会議設置要綱							
							(2)		杉並区における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた懇談会運営要綱							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、スポーツの振興、障害者の理解促進等を通して、地域の活性化、有益な遺産（レガシー）を創出するにぎわいのあるまちづくりを推進していく。			活動指標		指標名（1）		庁内連絡調整会議の開催							
						指標説明										
						指標名（2）										
						指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた庁内の関連事業を推進する。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた区民の気運醸成を図る事業を実施する。杉並区における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた懇談会を運営する。			成果指標		指標名（1）		区が実施する各種オリンピック・パラリンピック関連イベントへの参加者数								
						指標説明										
						指標名（2）										
						指標説明										
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）							
指標	活動指標（1）	1	回	3	3	3	2	3	66.7							
	活動指標（2）	2														
	成果指標（1）	3	人	3,944	4,000	3,960	4,000	7,290	7,000	182.3						
	成果指標（2）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	2,120	4,000	3,650	7,427	6,812	11,199	平成29年度 予算執行率（%）	91.7					
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7	千円	0	1,632	1,613	3,327	2,830	5,904							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.20	0.50	0.59	1.50	2.03	2.25						
		再任用職員数	9	人	0.80	1.00	1.18	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,749	4,374	5,052	12,843	17,440	19,330						
		再任用職員分	12	千円	3,311	4,139	5,180	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	2,971	2,944	0						
	総事業費	14	千円	7,180	12,513	13,882	23,241	27,196	30,529							
	単位当たりコスト	15	円	2,393,333	4,171,000	4,627,333	7,747,000	13,598,000	10,176,333							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	951	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20	千円	0	0	951	0	0	0							
差引：一般財源		21	千円	7,180	12,513	12,931	23,241	27,196	30,529							
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	072
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		オリンピック・パラリンピック普及啓発事業の実施	15	事業	6,411
		東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた懇談会の開催	3	回	225
		オリンピック・パラリンピック庁内連絡調整会議の開催	2	回	0
	その他（杉並区職員用名刺台紙の印刷など）			176	
(2) 事業実績	<p>スポーツ振興事業補助金を活用し、東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアーやパラリンピック競技を紹介するパネル展示を行うなど、大会の気運醸成に努めました。また、区民懇談会については、大会遺産（レガシー）の創出に向け取り組んでいくテーマとして、スポーツ、地域活性、子ども、バリアの4つが掲げられ、このうちスポーツ、地域活性、子どもの3つのテーマについては、区民懇談会委員が中心となり実現に取り組み、バリアについては区が主体となり事業化することとなりました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、大会の理解促進や気運醸成に取り組む中で、スポーツの振興にとどまらず、文化プログラムや多様なイベント事業等に取り組むため、平成28年度から区長部局にオリンピック・パラリンピック連携推進担当の部門を設置しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、ボランティア参加したいという声が多く寄せられています。また、地域で行っている催しやお祭りと連携した普及啓発イベントを行ってほしい旨、要望をいただいています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催まで3年を切りました。この間、大会の気運醸成を目的に普及啓発事業の実施に取り組んできましたが、今後は、ビーチバレーボール及びパラリンピック競技の事前キャンプ誘致やボランティア募集、聖火リレーのルート調整など、より具体的な動きが出てきます。目指すべき大会遺産（レガシー）を明確にし、多くの方の協力を得て、事業の実施にあたっていくことが必要と考えます。</p>			
評価と課題	<p>大会組織委員会及び東京都より、平成30年夏にはボランティアの募集要項が発表され、大会ボランティア8万人、都市ボランティア3万人の募集が始まります。このうち都市ボランティアでは、区に一定の推薦枠が確保される予定であり、関係各課と協力の上、多くの区民が大会に関わることができるよう努めていきます。また、大会に関わった経験を「大会遺産（レガシー）」と位置付け、大会遺産（レガシー）が社会貢献意欲の増進や障害者理解の促進等につながっていく仕組みを構築していきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成31年度は、2020年を翌年にひかえ、事前キャンプの誘致とその対応、大会の気運醸成イベントの開催、ボランティア受入体制の構築、聖火リレーに関連する様々な調整など、課題が山積しています。文化、スポーツ、障害者、教育、産業等の分野と連携を図り、これら課題の解決にあたりともに、大会の成功に向け、区をあげて協力体制を構築していきます。懇談会においては、大会遺産（レガシー）として掲げた目標の達成に向け、地域や関係団体と協働し取り組んでいきます。また、ホームステイ・ホームビジット支援事業については、担当会議による調整及び関係団体との連携によりホストファミリーを支援する仕組みを構築し、区民と国内・国外交流自治体等の住民との交流を促進していきます。</p>				

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00532）

事務事業名称		生涯スポーツ振興事業				款	03	項	06	目	01	事業	001	整理番号	113				
現担当課名		スポーツ振興課		係名		事業係		連絡先電話番号		1674		昨年度整理番号		548					
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業					
事務事業の概要	事業開始		昭和37年度		実行計画事業		目標 05		施策 29		計画事業 06		主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
	平成29年度担当課名		スポーツ振興課										事業評価区分 一般						
	対象		スポーツをする機会の少ない人及びスポーツ団体・競技者		根拠法令等		(1)		(2)		社会教育法第2、3、5条、スポーツ基本法第22条、32条 杉並区スポーツ推進委員に関する規則、杉並区スポーツ栄誉顕彰要綱								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		生涯スポーツ振興事業を通して、スポーツ実施者の拡大を図ると共に、事業の運営等への参画・協働の仕組みを充実させ、様々な立場でスポーツに関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指す。		活動指標		指標名（1）		各種生涯スポーツ事業回数		指標説明		共催件数						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		第28期（平成28～29年度）スポーツ推進委員（37名）と、地域拠点活動や、綱引き大会、キンボールスポーツ交流大会などのレクリエーションスポーツの普及啓発を行う。 重度心身障害者スポーツ教室（わいわいスポーツ教室）をボランティア等と年6回開催する。 交流自治体スポーツ交流：台湾で開催された交流自治体中学生野球大会に参加、バレーボール交流会を杉並区で開催する。		成果指標		指標名（1）		各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者数		指標説明		生涯スポーツ振興事業の延べ参加者数						
						指標名（2）		各種事業ボランティア等人数		指標説明		生涯スポーツ振興事業7事業の実行委員・ボランティアの延べ人数							
区分		単位		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成29年度							
				実績		計画		計画 （目標値）		実績		計画		対計画比（%）					
指標	活動指標（1）		1 回		39		36		45		44		51		43		115.9		
	活動指標（2）		2 件		35		35		36		36		35		36		97.2		
	成果指標（1）		3 人		2,414		2,200		3,181		4,600		4,742		4,335		103.1		
	成果指標（2）		4 人		629		630		632		685		606		745		88.5		
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		22,543		27,370		24,991		29,722		26,367		29,873		平成29年度 予算執行率(%) 88.7		
	(内) 投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0		特記事項		
	(内) 委託費		7 千円		144		164		149		2,086		1,979		1,753		平成29年度から、オリンピック・パラリンピック普及啓発事業が生涯スポーツ振興事業に含まれることになりました。		
	職員数	常勤職員数		8 人		4.80		4.85		5.79		5.40		5.73		4.65			
		再任用職員数		9 人		0.12		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00			
		非常勤職員数		10 人		1.00		1.00		1.00		1.00		1.15		1.70			
	人件費	常勤職員分		11 千円		41,986		42,423		49,574		46,235		49,226		39,948			
		再任用職員分		12 千円		497		0		0		0		0		0			
		非常勤職員分		13 千円		2,935		2,935		2,971		2,971		3,386		5,005			
	総事業費 (5+11+12+13)		14 千円		67,961		72,728		77,536		78,928		78,979		74,826				
	単位当たりコスト (14-6)÷1)		15 円		1,742,590		2,020,222		1,723,022		1,793,818		1,548,608		1,740,140				
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0			
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0			
		都からの補助金等		18 千円		769		0		1,365		0		2,632		1,500			
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0					
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		769		0		1,365		0		2,632		1,500					
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		67,192		72,728		76,171		78,928		76,347		73,326					
受益者負担比率 (16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	113
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		交流自治体とのスポーツ交流（中学生軟式野球、バレーボール）	317	人	9,149
		中学校対抗駅伝の開催	399	人	6,180
		スポーツ推進委員	37	人	3,295
		体育団体活動の奨励	25	事業	3,838
		その他（わいわいスポーツ教室、スポーツ栄誉章 ほか）			3,905
(2) 事業実績	<p>交流自治体中学生親善野球大会では、台湾での野球大会に杉並区選手団を派遣しました。また、体育団体の活動に共催35件、後援112件の支援を行ったほか、体育大会等で優秀な成績を収めた32組239人にスポーツ栄誉章を授与しました。さらに、重度心身障害者を対象としたスポーツ教室を年6回実施したほか、スポーツ推進委員が地域拠点活動を実施し、1,706人が参加しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>【区民意向調査】 （5年前との比較） 健康状態について、「非常に健康である」「だいたい健康である」の割合 H24:86.3% H29:84.9% 取り組んでいる社会参加活動について、「スポーツ活動」をあげた人の割合 H24:20.7% H29:23.4%</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>成果指標（1）事業参加者数が増加しています。また、成果指標（1）のうち、スポーツ推進委員の地域拠点活動については、より地域に密着した活動を地道に継続してきたことにより、平成28年度に引き続き、約1,700人が参加し、活動が根付きつつあります。さらに、成果指標（1）のうち、オリンピック・パラリンピック普及啓発事業には、1,646人が参加しました。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>東京2020大会の開催が2年後に近づいたことにより、スポーツへの関心が高まっています。特に障害者スポーツやボランティアに関する意識が、今まで以上に高まることが予想されます。障害の有無に関わらずスポーツを楽しむ場の提供、スポーツボランティアの活躍の場の提供、各スポーツ団体等への支援の充実を進めるとともに、スポーツ推進委員の地域拠点活動を継続し、スポーツによる健康づくり、地域づくりを進めます。</p>			
評価と課題	<p>交流自治体中学生親善野球大会は、中学生のスポーツ精神の醸成や異文化理解・国際理解を深める機会になっています。また、スポーツ推進委員の地域拠点活動の広がりを通して、身近にスポーツを楽しむ環境が増えています。今後は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への機運の高まりを契機として捉え、スポーツを「する」「観る」「支える」取組を進め、スポーツに親しむ区民を増やしていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>東京2020大会への機運の高まりを好機とし、スポーツへの多様な関わりを推進しながら、特に障害の有無にかかわらず共にスポーツを楽しむ機会や、ボランティアとしての参画機会の拡充を図り、スポーツによる健康づくり、地域づくりを進めます。スポーツ推進委員は、引き続き増員を図るため、関係団体やアカデミー修了者への呼びかけや、働く世代が活動しやすい環境づくりを行い、区民の自主的・継続的な地域スポーツ活動を推進します。</p>			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00533)

事務事業名称			公益財団法人杉並区スポーツ振興財団への助成				款	03	項	06	目	01	事業	002	整理番号	114
現担当課名		スポーツ振興課		係名		施設管理係		連絡先電話番号		1676		昨年度整理番号		549		
上位施策No・施策名											29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始		平成5年度													
	平成29年度担当課名		スポーツ振興課								事業評価区分		一般			
	対象		公益財団法人杉並区スポーツ振興財団		根拠法令等		(1)		社会教育法第3、5条							
							(2)		スポーツ基本法第34条							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が、その設立目的であるスポーツ振興に関する事業を活発に行うことができるよう、補助金を支出し、財団の安定的な運営に役立てる。		活動指標		指標名(1)		教室参加者数							
						指標説明		教室事業開催数								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が行う、「各種スポーツ教室・講座及び各種大会の運営に関する事業」、「スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成事業」、「スポーツ振興のための普及啓発事業」等に必要経費を助成する。		成果指標		指標名(1)		運動・スポーツをしていない人の割合								
						指標説明		区民意向調査による								
						指標名(2)		利用者満足度								
						指標説明		利用者満足度調査								
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	人	60,335	80,000	59,992	80,000	64,959	80,000	81.2						
	活動指標(2)	2	種目	242	300	261	364	349	351	95.9						
	成果指標(1)	3	%	24.6	24	27.0	24	22.9	21	95.4						
	成果指標(2)	4	%	78.1	85	87.0	85	83.9	85	98.7						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	75,193	84,135	84,135	86,539	85,500	88,702	平成29年度予算執行率(%)	98.8					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	0	0	0	0	0	0							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.40	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	3,499	2,624	2,569	2,569	2,577	2,577						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	78,692	86,759	86,704	89,108	88,077	91,279							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,304	1,084	1,445	1,114	1,356	1,141							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	78,692	86,759	86,704	89,108	88,077	91,279							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	114
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	運営等補助	1	団体	85,500
	(2) 事業実績	<p>公益財団法人杉並区スポーツ振興財団に対して、補助金を支出しました。                      公益財団法人杉並区スポーツ振興財団は、障害者向けスポーツの拡充など、より公益性の高い事業に取り組みました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>昭和61年10月から任意団体の杉並区スポーツ振興会が、体育施設の管理運営を受託していましたが、平成5年10月に組織の法人化を図り、財団法人杉並区スポーツ振興財団として引続き体育施設の管理運営を行うとともに、より広範囲な区民のスポーツ活動を支援することになりました。                      平成18年度に区が体育施設に指定管理者制度を導入し、補助金のうち、施設の管理運営にかかる経費を別途支出することとしました。                      平成24年4月から、より公益性を高めるため公益財団法人に移行しました。                      区のスポーツ推進計画の策定にあわせて策定したスポーツ振興財団の杉並区スポーツ推進プランを平成30年3月に改定し、これまで以上に公益性の高い事業に取り組んでいくこととしました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>スポーツ振興財団と区の役割が分かりにくいという声があります。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>健康づくりやフレイル予防、障害者スポーツの振興、仲間づくりや人と人とのつながりなど、スポーツ・運動の役割は、これからもますます重要になります。こうした中、公益財団法人として、障害者スポーツへの取組や人材育成をはじめとした、公益性の高い事業やサービスを担うことがスポーツ振興財団に強く求められています。</p>			
評価と課題		<p>地域スポーツ振興の担い手として、区から移管・委託したファミリー駅伝・すぎなみスポーツアカデミーなどの事業も定着しており、さらに、障害者向け事業の拡充、区のスポーツ分野の広報紙の発行など、公益財団法人として公益性の高い事業を実施しました。また、平成29年度からは指定管理者として荻窪体育館外2施設及び下高井戸運動場外1施設の新たな管理・運営がスタートし、財団独自のスポーツ推進プランを策定するなど、積極的な事業運営に取り組んでいます。                      今後も、財団と連携しながらスポーツを推進する環境づくりを進めるとともに、地域スポーツの担い手として、公益性の高いスポーツ事業をより多く提供できる団体となるよう、財団のあり方等の検討を行っていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
		<p>区のスポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」では、スポーツ振興財団を計画推進の最も重要な実施主体と位置付け、民間事業者と異なる視点で、地域スポーツ団体等をコーディネートしながら、公益性の高い事業を展開していくことを求めています。そのため、財団の施設運営管理の状況を見ながら、生涯にわたり区民が自主的・継続的にスポーツに親しめるような事業提供を中心とした業務を推進できる組織となるよう、体制、経営基盤などの見直しを進めていきます。</p>			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00534 ）

事務事業名称		スポーツ推進計画				款	03	項	06	目	01	事業	003	整理番号	115		
現担当課名		スポーツ振興課		係名		施設管理係		連絡先電話番号		1676		昨年度整理番号		550			
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業			
事務事業の概要	事業開始		平成24年度		実行計画事業		目標 05		施策 29		計画事業 01		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成29年度担当課名		スポーツ振興課										事業評価区分 一般				
	対象		区民 スポーツ関係団体		根拠法令等		(1) (2)						スポーツ基本法第9条				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		スポーツ・運動が、区民により身近になることで健康維持に役立ち、さらに地域のつながり・交流に結び付くよう、スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を推進する。		活動指標		指標名（1）		指標説明		指標名（2）		指標説明		スポーツアカデミー参加者数 スポーツ始めキャンペーン参加延人数		
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		スポーツ分野の人材育成プログラム「すぎなみスポーツアカデミー」では、従来の5講座のほか、修了者に実践の場を紹介する取組を推進する。総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援を行う。日頃、スポーツ・運動を行っていない人に、スポーツに親しむ機会を提供する「スポーツ始めキャンペーン」を実施する。		成果指標		指標名（1）		指標説明		指標名（2）		指標説明		成人の週1回以上のスポーツ・運動実施率 区民意向調査による		
区分		単位		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成29年度					
				実績		計画		計画 （目標値）		実績		計画		対計画比（%）			
指標	活動指標（1）		1 人		288		280		320		350		219		350 62.6		
	活動指標（2）		2 人		162		750		414		450		725		780 161.1		
	成果指標（1）		3 %		44.6		45.0		41.9		45.0		44.4		46.3 98.7		
	成果指標（2）		4														
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		4,764		6,072		4,801		10,239		8,321		6,168 平成29年度 予算執行率(%) 81.3		
	(内) 投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0 特記事項		
	(内) 委託費		7 千円		3,670		4,652		3,885		7,799		6,831		4,540		
	職員数	常勤職員数		8 人		1.10		0.90		1.05		0.90		1.10		0.90	
		再任用職員数		9 人		0.10		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
		非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.10		0.00	
	人件費	常勤職員分		11 千円		9,622		7,872		8,990		7,706		9,450		7,732	
		再任用職員分		12 千円		414		0		0		0		0		0	
		非常勤職員分		13 千円		0		0		0		0		294		0	
	総事業費 (5+11+12+13)		14 千円		14,800		13,944		13,791		17,945		18,065		13,900		
	単位当たりコスト (14-6)÷1		15 円		51,389		49,800		43,097		51,271		82,489		39,714		
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		350		464	
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0	
		都からの補助金等		18 千円		1,327		0		1,367		0		3,306		2,000	
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		1,327		0		1,367		0		3,656		2,464			
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		13,473		13,944		12,424		17,945		14,409		11,436			
受益者負担比率 (16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		1.9		3.3			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	115
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		すぎなみスポーツアカデミーの運営	5	講座	3,740
		スポーツ推進計画の改定			2,918
		スポーツ始めキャンペーンの実施	725	人	1,098
		総合型地域スポーツクラブの支援			374
		その他（スポーツライフ杉並プラン推進懇談会の開催（2回））			191
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>平成29年度末で計画期間が満了する杉並区スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」について、取組の検証や区民アンケート調査の結果を踏まえて改定しました。</p> <p>また、スポーツ始めキャンペーンでは、関係機関と連携し、運動が必要な糖尿病ハイリスク者などにスポーツ教室の案内チラシを送付するなどして、スポーツの実施につなげました。</p> <p>さらに、すぎなみスポーツアカデミーを通して、地域のスポーツ指導者の養成を図ったほか、総合型地域スポーツクラブに関する研修会やPR活動を通して、運営支援を行いました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成23年度に、スポーツ庁が設置されるとともにスポーツ基本法が制定されました。</p> <p>平成25年度に、スポーツ基本法に基づく「地方スポーツ推進計画」として、スポーツ・運動を通じた区民の健康づくり・仲間づくりに取組む「健康スポーツライフ杉並プラン」を策定しました。また、2020年オリンピック・パラリンピックが東京で開催されることが決まりました。</p> <p>平成26年度には、すぎなみスポーツアカデミー事業を開始、平成27年度には、スポーツ始めキャンペーンを地域を限定して実施し、28年度から区内全域で実施しています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>地元のトップアスリートと連携した事業の展開、誰もが参加しやすいようなスポーツ・運動機会の充実、指導者の養成、民間施設の活用も含めた体育施設の整備などに意見が多く寄せられました。</p> <p>すぎなみスポーツアカデミーは、講師の顔触れや講義内容が充実しているとの声が寄せられています。スポーツ始めキャンペーンでは、案内状を送付した家族の方も一緒に参加したいという希望が寄せられました。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、スポーツ・運動が健康維持に役立ち、さらに地域のつながり・交流に結び付くというスポーツの役割はますます重要となっていきます。</p> <p>日頃、スポーツ・運動を行っていない人がスポーツに親しめるような機会を提供するとともに、スポーツに親しんでいる人が仲間づくりや地域づくりの担い手となるよう、関係団体や民間事業者との連携・協働して計画推進のための仕組みを整えていきます。</p>			
	評価と課題	<p>スポーツ始めキャンペーンなどの計画事業を着実に実施するとともに、計画改定に当たっては、障害者スポーツの振興や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組など、社会的に関心が高まっている課題を盛り込みました。</p> <p>今後は、保健福祉部等との連携を深めることにより、スポーツ推進計画の効果的かつ効率的な実施に努め、区民のスポーツ実施率の向上を図っていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>30年度には障害者施策課、公益財団法人スポーツ振興財団と協力して、障害当事者によるモニタリングを実施します。モニタリング結果を分析し、ハード、ソフト両面で施設の充実を進めていきます。</p> <p>引き続き、障害があってもなくてもスポーツ・運動に親しめるよう、保健福祉分野等とも連携しながら計画を推進していきます。</p>			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00670）

事務事業名称		次世代トップアスリートの育成			款	03	項	06	目	01	事業	004	整理番号	116		
現担当課名		スポーツ振興課			係名	事業係			連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	551			
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	臨時事業			
事務事業の概要	事業開始	平成26年度			主要事業（区政経営報告書掲載事業）											
	平成29年度担当課名	スポーツ振興課			事業評価区分 一般											
	対象	次世代のトップアスリートを目指す青少年等			根拠法令等	(1)		杉並区次世代トップアスリート育成・支援検討会設置要領								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、次世代のトップアスリートを目指す青少年等を地域ぐるみで育成・支援することで、オリンピック・パラリンピック競技大会への気運を高め、地域を活性化するとともに、青少年の健全育成を図る。			活動指標	指標名（1）		チャレンジアスリート開催回数								
					指標説明	指標名（2）		検討会開催回数からチャレンジアスリート開催回数に変更								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	オリンピック選手による実技指導、パラリンピック種目体験、スポーツ関係職場見学などを通じて、スポーツ、オリンピック・パラリンピックを総合的に学ぶ「育成プログラムによる環境づくり（チャレンジ・アスリート）」を開催する。			成果指標	指標名（1）		チャレンジ・アスリート参加者数									
				指標説明	指標名（2）		指標説明									
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）							
指標	活動指標（1）	1	回	1	3	3	4	4	4	100.0						
	活動指標（2）	2														
	成果指標（1）	3	人	54	85	129	150	153	150	102.0						
	成果指標（2）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	3,332	6,000	3,535	4,000	3,665	4,000	平成29年度予算執行率（%）	91.6					
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7	千円	715	1,683	1,681	1,946	1,838	2,002							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.59	0.65	0.64	0.60	0.63	0.24						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.30						
	人件費	常勤職員分	11	千円	5,161	5,686	5,480	5,137	5,412	2,062						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	294	883						
	総事業費（5+11+12+13）	14	千円	8,493	11,686	9,015	9,137	9,371	6,945							
	単位当たりコスト（(14-6)÷1）	15	円	8,493,000	3,895,333	3,005,000	2,284,250	2,342,750	1,736,250							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	801	0	890	0	1,838	1,000						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計（16+17+18+19）		20	千円	801	0	890	0	1,838	1,000							
差引：一般財源（14-20）		21	千円	7,692	11,686	8,125	9,137	7,533	5,945							
受益者負担比率（16÷14）	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	116
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	チャレンジ・アスリートの実施	4	回	3,166
		実施報告書の印刷	1,000	部	499
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	<p>スポーツ、オリンピック・パラリンピックを総合的に学ぶ「チャレンジ・アスリート事業」について、小中学生を対象にオリンピック・パラリンピアンを講師にしたスポーツ実技体験教室を、平成28度と同様に夏・秋・冬に各1回（計3回）開催しました。また、新たな取組として、スポーツインストラクターやスポーツ記者などの5つの職場見学を個別に実施しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成25年9月に2020年のオリンピック・パラリンピック開催地が東京に決定し、オリンピックに向けて、選手育成団体・選手強化事業等の支援についての検討を始めました。 平成26年度に次世代トップアスリート育成・支援検討会において、基礎自治体としての取組は、一部のスポーツ・エリート育成ではなく、誰もが参加可能な育成プログラムによる環境づくりを行うこと、将来的に国際大会等への出場支援を検討すること、次世代育成基金の更なる充実を視野に入れることを確認し、平成27年1月から事業化をしました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>事業の見直しにより単発の開催にして2年目ですが、毎回多くの申し込みがあり、好評を得ています。多様な体験を通して、スポーツにおける基礎運動の大切さ、トップアスリートの技術のすばらしさ、障害者スポーツ体験における楽しさや驚きなどを感じたとの声が寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>2年後の東京2020大会開催を前に、オリンピック・パラリンピック、スポーツ全般への区民の関心が高まっています。子どもたちの多様な体験の場を提供することで、生涯にわたりスポーツに関わるきっかけとなるよう、事業の充実を図ります。 さらに、東京2020大会後の「チャレンジ・アスリート事業」のあり方について、事業に対する意見等を踏まえ、検討を始めます。</p>			
	評価と課題	<p>「チャレンジ・アスリート事業」では、年3回の実技体験教室のほか、職場見学を新たに組入れたことで、開催回数や参加者が増加するなど、次世代トップアスリートを目指す青少年の支援の拡充に努めました。 今後は、体験機会の少ない競技や普及の進んでいない競技を実技体験教室に組み合わせることで、多様な体験や学びの機会の充実を図っていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>育成プログラムによる環境づくり（チャレンジ・アスリート）について、多くの子どもたちが多様な体験を行うことができるよう、プログラムの内容を見直します。また、子どもたちが身近な地域においてより良い指導が受けられ、生涯スポーツ活動につながるよう、すぎなみスポーツアカデミーによる指導者養成の充実や、アカデミー修了者の活躍の場を整えるなど、子どものスポーツ環境の向上に寄与していきます。</p>			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00535 )

事務事業名称 体育施設の維持管理			款 03	項 06	目 02	事業 001	整理番号 117					
現担当課名 スポーツ振興課		係名 施設管理係	連絡先電話番号 1676			昨年度整理番号 552						
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業						
事務事業の概要	事業開始	昭和30年度										
	平成29年度担当課名	スポーツ振興課				事業評価区分	施設維持管理					
	対象	施設利用者（区民、団体等）		根拠法令等 (1) (2)	スポーツ基本法第2条、12条 杉並区体育施設等に関する条例							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	延べ利用者数							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	運動場12か所、体育館6か所、プール5か所、（暫定）遊び場106番運動場（平成29年10月末に廃止）の維持管理を行う。 移転改修後の永福体育館指定管理者を選定する。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明								
区分	単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度				
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)				
指標	活動指標（1）	1	人	1,519,566	1,570,000	1,566,063	1,570,000	1,543,428	1,570,000	98.3		
	活動指標（2）	2										
	成果指標（1）	3										
	成果指標（2）	4										
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	896,697	969,565	909,520	889,152	834,727	1,398,770	平成29年度 予算執行率(%)	93.9	
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	（内）委託費	7	千円	809,477	844,073	828,765	790,325	777,114	1,292,409			
	職員数	常勤職員数	8	人	3.17	2.30	3.05	2.80	3.95	5.30		
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.50	0.51	0.00		
		非常勤職員数	10	人	0.80	1.00	1.54	1.00	1.10	0.50		
	人件費	常勤職員分	11	千円	27,728	20,118	26,114	23,974	33,934	45,532		
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	2,195	2,258	0		
		非常勤職員分	13	千円	2,348	2,935	4,575	2,971	3,238	1,472		
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	926,773	992,618	940,209	918,292	874,157	1,445,774			
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	610	632	600	585	566	921			
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	926,773	992,618	940,209	918,292	874,157	1,445,774			
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	117	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単 位	事業費（千円）
		管理運営（指定管理者）上井草スポーツセンター及び妙正寺体育館		2	施設	231,733
管理運営（指定管理者）大宮前体育館		1	施設	137,160		
管理運営（指定管理者）高円寺体育館ほか2施設		3	施設	82,252		
管理運営（指定管理者）高井戸温水プール		1	施設	75,336		
その他（下高井戸運動場指定管理、維持管理経費、業務委託費ほか）					308,246	
(2) 事業実績	<p>指定管理者制度導入施設8施設、業務委託施設9施設、公園併設の4施設の管理運営業務を行いました。また、平成30年9月に開場する永福体育館について、民間事業者のノウハウを生かし効率的・効果的な運営ができるように指定管理者を選定しました。</p> <p>施設の修繕については、より安全・快適に利用できるように、荻窪体育館の天井の安全対策及びLED化などを行いました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題	<p>平成30年9月に開設する永福体育館の指定管理者候補者について、プロポーザル選定委員会により事業者選定を行い、また、施設修繕を計画的に進めました。今後も、安全で、多くの人にとって使いやすい施設となるよう、上井草スポーツセンターの大規模改修を実施するなど、老朽化した施設の修繕を行うほか、松ノ木運動場庭球場の人工芝化などの改良について検討を進めます。さらに、指定管理施設については、スケールメリットを活かした効率的な運営やサービスの向上を目指していきます。</p>					
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性				

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00671）

事務事業名称 永福体育館の移転改修			款 03	項 06	目 03	事業 001	整理番号 118			
現担当課名 スポーツ振興課		係名 体育施設改築準備担当係長			連絡先電話番号 1678	昨年度整理番号 554				
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 投資事業				
事務事業の概要	事業開始	平成26年度	実行計画事業 目標 05 施策 29 計画事業 02			主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成29年度担当課名	スポーツ振興課				事業評価区分 一般				
	対象	施設利用者（社会体育団体登録構成員、個人登録者等）		根拠法令等 (1) (2)	スポーツ基本法第12条 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	永福体育館を旧永福南小学校に移転改修し、誰もが利用しやすいバリアフリーに配慮した地域スポーツ活動の拠点として整備する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	改修工事進捗率					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成26年度に地盤及び測量調査を行う。 平成27年度に実施設計を行う。 平成28年度に設計変更を行う。 平成29年度に改修工事を行う。 平成30年度に竣工・供用開始する。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明						
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画 実績		平成29年度 計画 実績 （目標値）	平成30年度 計画	平成29年度 対計画比（%）		
指標	活動指標（1）	1 %	100.00	100.00	100.00	89.91	77.67	100.00	86.4	
	活動指標（2）	2 %								
	成果指標（1）	3 %								
	成果指標（2）	4 %								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	29,676	336,942	301,419	407,227	403,509	694,352	平成29年度 予算執行率(%) 99.1	
	（内）投資的経費等	6 千円	29,676	336,942	301,419	407,227	403,509	694,352	特記事項 活動指標については 実施設計進捗率及び測 量調査進捗率を採用し ていましたが、改修工 事に着工したことから 、改修工事進捗率へ変 更しました。	
	（内）委託費	7 千円	29,676	336,698	301,309	406,832	403,426	647,515		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.00	0.00	0.00	1.00	1.22		0.50
		再任用職員数	9 人	1.00	1.00	1.01	0.50	0.51		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.50
	人件費	常勤職員分	11 千円	0	0	0	8,562	10,481		4,296
		再任用職員分	12 千円	4,139	4,139	4,434	2,195	2,258		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0		1,472
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	33,815	341,081	305,853	417,984	416,248	700,120		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	41,390	41,390	44,340	119,642	164,014	57,680		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
国からの補助金等		17 千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等		18 千円	0	0	0	130,965	130,965	0		
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	130,965	130,965	0		
差引：一般財源 (14-20)	21 千円	33,815	341,081	305,853	287,019	285,283	700,120			
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 118			
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		改修工事			
		建設事務費			309
		その他( )			
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	平成30年9月の開館(6月竣工)に向けて、永福体育館の移転改修工事を着実に進めました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	現在の永福体育館は築50年が経過し老朽化が著しいため、平成25年度に施設再編・整備計画の策定に際し、旧永福小学校跡地を活用して移転・改修することとしました。その後、平成26年度に測量調査、平成27年度に実施設計を行いました。平成28年度に、地域の保育需要を踏まえ、敷地の一部に保育園を整備する方針変更に伴い、駐輪場等を立体化するなどの実施変更を行いました。平成28年度末に着工した移転改修工事は、平成30年6月の竣工を目指し、平成29年度において工事を着実に進めています。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	ビーチコートだけでなく、保育施設を整備して欲しいとの声が寄せられる一方、2020年オリンピック東京大会におけるビーチバレーボールの外国チームの事前キャンプ地誘致やスポーツ活動の拠点として、地域の活性化が期待できるとした声も寄せられています。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	平成30年6月に竣工し、9月に開館するため、移転改修事業は終了しています。			
評価と課題		移転改修工事を着実に進めるとともに、使用料金や利用時間について条例化したほか、プロポーザルにより指定管理者を選定するなど、取組を計画的に進めることができました。今後は、平成30年9月の運営開始に向け、引き続き工事監理を行うとともに、多様なスポーツや健康事業、交流事業で区民に親しまれる施設となるよう指定管理者と運営方法について協議していきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性	対象外		
翌年度予算の方向性の理由・内容		平成30年6月に竣工し、9月に開館するため、翌年度は通常の体育施設としての維持管理を進めていきます。			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00728)

事務事業名称		オリンピック・パラリンピック教育の推進				款	07	項	01	目	03	事業	021	整理番号	514
現担当課名		済美教育センター		係名		教育指導係		連絡先電話番号		3311-0021		昨年度整理番号		505	
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業	
事業開始		平成28年度		実行計画事業		目標 05		施策 29		計画事業 06		主要事業(区政経営報告書掲載事業)			
平成29年度担当課名		済美教育センター						事業評価区分				一般			
対象		区立小中学校、子供園、特別支援学校の児童、生徒、園児				根拠法令等		(1)		平成29年度オリンピック・パラリンピック教育推進事業実施要項					
								(2)		「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針					
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標		各種オリンピック・パラリンピック教育事業実施校								
	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催をまたとない重要な機会と捉え、幼児・児童・生徒の良きところをさらに伸ばし、弱みを克服するための取組を推進することで、国際社会に貢献するなど、人生の糧となるようなレガシーを一人ひとりの心と体に残していくことを目的とする。				指標名(1)		各種オリンピック・パラリンピック教育事業を実施する区立小学校、中学校、特別支援学校、子供園の数								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				指標説明										
	「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針を踏まえ、杉並区教育委員会で定めた「4つのテーマ」(障害のある人への理解、スポーツ、文化、環境)と「4つのアクション」(学ぶ(知る)、観る、する(体験・交流)、支える)を組み合わせて教育課程に位置つけた全ての区立学校・子供園での取組を東京都からの委託金を活用し、支援を行うことで、オリンピック・パラリンピック教育の推進を図る。				成果指標										
				指標名(1)											
				指標説明											
				指標名(2)											
				指標説明											
				指標名(2)											
				指標説明											
区分		単位	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成29年度				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)		1	校		150	150	156	156	156	100.0				
	活動指標(2)		2												
	成果指標(1)		3												
	成果指標(2)		4												
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	21,700	18,979	21,700	15,284	19,350	平成29年度予算執行率(%)		70.4			
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費		7	千円	985	602	1,145	554	1,100	予算執行率が90%に満たない理由は、東京都の1校(園)当たりの事業規模が50千円減額となったこと、全ての学校、子供園で高い執行率を達成していないことにあります。					
	職員数	常勤職員数		8	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50					
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数		10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分		11	千円	4,374	4,281	4,281	4,296	4,296					
		再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分		13	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	26,074	23,260	25,981	19,580	23,646						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	173,827	155,067	166,545	125,513	151,577						
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等		18	千円	21,700	18,979	18,204	15,285	13,645					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	21,700	18,979	18,204	15,285	13,645							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	4,374	4,281	7,777	4,295	10,001							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	514
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		小学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	41	校	8,504
		中学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	23	校	5,066
		子供園におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	6	園	1,470
		特別支援学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	1	校	244
		その他（ ）			
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	東京都からの1校・園当たり25万円の委託金を活用し、全ての区立学校・子供園が教育課程の中にオリンピック・パラリンピック教育を位置付け、「障害のある人への理解」、「スポーツ」、「文化」、「環境」のテーマに基づいた「ボランティアマインド」、「障害者理解」、「スポーツ志向」、「日本人としての自覚と誇り」、「豊かな国際感覚の資質」を育成する取組を行いました。また、オリンピック・パラリンピック教育アワード、パラリンピック競技応援校、夢・未来プロジェクト及び世界ともだちプロジェクト事業に学校単位で取組を行いました。			
		<p>オリンピック・パラリンピック教育推進事業の1校・園当たりの委託金額は、平成28年度が30万円、平成29年度が25万円でしたが、平成30年度は20万円となります。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を機に、学校の教育活動を充実させる好機ととらえるとともに体験的な活動や外部講師との連携による教育活動により教育の質の向上が期待できるとの声が寄せられています。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年（平成32年度）までは、本事業の継続が見込まれ、各区立学校・子供園の取組が充実し、幼児・児童・生徒へのオリンピック・パラリンピック教育が更に推進されていくことが期待されます。</p> <p>全学校・園が対象となって2年が経過し、区立小・中学校・子供園の多くでオリンピック・パラリンピック教育に積極的に取り組む姿勢がある中、取組内容や予算の執行状況に学校間の格差が見受けられることから、一部では教育課程での位置付け、効果的な事業展開を支援していく必要があります。このためにも、優れた事例や効果的な取組を水平展開していくため、情報や機会の提供についてが課題となります。さらに、各学校・園の実情に合った予算執行などについても、学校訪問等で相談・アドバイスを行うなど、細やかな対応をしていきます。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後（3～5年）の予測と方向性				
評価と課題					
翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	東京都の事業方針や1校・園当たりの推進事業費の規模は、200千円程度で維持していくことが予測されます。事業開始から3年目を迎え、東京都から示された委託金の規模の中で、各区立学校・子供園が他校での取組等も参考としながら、他の事業との組合せを工夫するなど、より効果的な教育の取組となるよう、情報提供や支援体制を工夫していきます。			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00517)

事務事業名称		社会教育委員			款	07	項	05	目	01	事業	001	整理番号	546
現担当課名		生涯学習推進課			係名			管理係			連絡先電話番号	1663	昨年度整理番号	532
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成元年度												
	平成29年度担当課名	生涯学習推進課									事業評価区分	一般		
	対象	社会教育関係施設及び社会教育関係団体・指導者等区民			根拠法令等	(1)	社会教育法第15～18条			(2)	杉並区社会教育委員の設置に関する条例			
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	社会教育関係団体への補助金交付に対する意見を述べたり、諮問に応じた答申や、調査・研究をもとに提言などを教育委員会に対して行うことにより、社会教育活動の向上、活性化を図る。			活動指標	指標名(1)	会議開催回数			指標説明	延べ会議出席委員数			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者合計9名以内で構成し(任期2年)、社会教育の振興のための調査・研究などの活動を行い、必要な場合は教育委員会に対して答申や提言などを行う。			成果指標	指標名(1)	NPO法人認証団体数			指標説明	「社会教育の推進」と「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」の分野に関わるNPO法人認証団体数			
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1	回	8	12	7	10	5	8	50.0				
	活動指標(2)	2	人	67	108	55	72	41	72	56.9				
	成果指標(1)	3	団体	345	350	342	350	342	350	97.7				
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	1,118	1,815	1,022	1,579	742	1,225	平成29年度予算執行率(%)	47.0			
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	7	千円	280	462	326	447	221	314	社会教育委員の会議の開催回数が予定より少なくなり、委員報酬と会議録作成経費が執行残となりました。				
	職員数	常勤職員数	8	人	1.10	1.30	1.50	1.30	1.40	1.40				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
		非常勤職員数	10	人	0.10	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80				
	人件費	常勤職員分	11	千円	9,622	11,371	12,843	11,131	12,027	12,027				
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0				
		非常勤職員分	13	千円	294	2,348	2,377	2,377	2,355	2,355				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	11,034	15,534	16,242	15,087	15,124	15,607					
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,379,250	1,294,500	2,320,286	1,508,700	3,024,800	1,950,875					
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	11,034	15,534	16,242	15,087	15,124	15,607					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	546
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		社会教育委員報酬の支出(延べ人数)	41	人	502
		社会教育委員の会議録作成委託	8	時間	204
		通信費、事務費			36
		その他( )			
(2) 事業実績	平成29年度には、第14期の会議がまとめた「今後の生涯学習にかかる事業の展開に向けて」を踏まえ、引き続き「出前型・ネットワーク型」による社会教育事業の展開についての協議を進めました。この一環として、「次世代型科学教育の新たな拠点としての機能を含む生涯学習環境の充実」に資する施設整備の検討のため、参考となる近隣自治体への視察などを行いました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	社会教育委員の会議は、平成2年度の制度発足以来、14期目を終わりました。これまで区民の生涯学習環境の整備や、社会教育関係団体等の活動支援など、区社会教育行政に対して提言や答申を行ったり、新たな教育ビジョン・同推進計画等における社会教育分野での取組に一定の方向性を示したりしてきました。社会教育については、これまで幾度となく既存計画の見直し等に合わせた変更・反映を重ねていますが、区の方向性を踏まえつつ、地域の自主性や自立性に見合った区独自のあり方が求められています。 社会教育活動に関わる区内NPO法人数 H15.3.31 104 H30.3.31 342			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区民の学習活動や関わる関連部署が多様になるなど、区民や地域の中に生涯学習社会への理解が広がりにつつある中で、社会教育に対する認知度や関心が捉えにくくなる状況にあります。このため、社会教育委員の会議では、社会教育関係機関や社会教育関係団体等との意見交換を通じて、地域社会の変化と共に区民の生涯学習環境の充実に必要な提言をまとめていくことが望まれます。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	NPOや区民によるボランティアな活動、企業の社会貢献活動などの充実と相まって生涯学習・社会教育活動が進展します。こうした中で、区民や地域の課題解決を図ることができるようにするため、学びを通じた地域参加のコーディネートを充実させることが重要になります。			
評価と課題	身近な地域が学びの場となり、その過程が地域づくりにもつながる事業展開をめざしています。このため、地域に潜在する力を積極的に生かして機会を設定するなど、身近なところで気づきを促す生涯学習・社会教育の振興についての検討が必要です。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	第15期社会教育委員の会議では、「出前型・ネットワーク型」による社会教育事業の展開についての2年間にわたる検討の内容をまとめるため、引き続き協議を行います。また、平成30年度に実行計画等を改定することとしておりますので、その内容を(仮称)高円寺学園開校後の杉並第四小学校の跡地を視野に入れた整備方針の検討・具体化に反映させ、社会教育の充実につなげています。			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00518）

事務事業名称 生涯学習振興室の維持運営			款 07 項 05 目 01 事業 002		整理番号 547						
現担当課名 生涯学習推進課			係名 管理係		連絡先電話番号 1662 昨年度整理番号 533						
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり					予算事業区分 既定事業						
事務事業の概要	事業開始 平成 7年度										
	平成29年度担当課名 生涯学習推進課				事業評価区分 一般						
	対象 区民一般		根拠法令等 (1) 学校教育法第137条 (2) 杉並区立学校の開放に関する規則								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） 区民及び団体等に小学校の余裕教室を有効活用した生涯学習振興室（ゆうゆうハウス）を設置することにより、生涯学習と社会教育活動の場を提供する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明		個人学習室利用者数						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段） 生涯学習振興室（愛称：ゆうゆうハウス）2所を運営する。（対象：個人） 生涯学習の場として個人学習室を設置する。 ・西田：個人学習室1室（42席） ・杉九：個人学習室1室（36席）		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明		個人学習室利用率 個人学習室利用者数÷個人学習室席数						
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画 実績		平成29年度 計画 実績	平成30年度 計画	平成29年度 対計画比(%)			
指標	活動指標（1）		1 人	20,727	26,300	20,414	26,300	21,069	26,300	80.1	
	活動指標（2）		2								
	成果指標（1）		3 %	79	80	79	80	80	85	100.0	
	成果指標（2）		4								
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円	19,754	20,533	19,012	20,884	19,989	20,544	平成29年度 予算執行率(%) 95.7	
	（内）投資的経費等		6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	（内）委託費		7 千円	17,050	17,511	17,060	17,968	17,846	18,466		
	職員数	常勤職員数		8 人	0.31	0.30	0.31	0.30	0.30	0.40	
		再任用職員数		9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数		10 人	0.20	0.30	0.30	0.20	0.20	0.20	
	人件費	常勤職員分		11 千円	2,712	2,624	2,654	2,569	2,577	3,436	
		再任用職員分		12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分		13 千円	587	881	891	594	589	589	
	総事業費 (5+11+12+13)		14 千円	23,053	24,038	22,557	24,047	23,155	24,569		
	単位当たりコスト (14-6)÷1)		15 円	1,112	914	1,105	914	1,099	934		
	財源	受益者負担分		16 千円	16	36	30	0	0	0	
		国からの補助金等		17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等		18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	16	36	30	0	0	0			
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	23,037	24,002	22,527	24,047	23,155	24,569			
受益者負担比率 (16÷14)		22 %	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	547
平成29年度の事業実施状況	内容		規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	ゆうゆうハウス2施設の運営業務委託		16,332	時間
光熱水費		2	所	950	
清掃業務委託		629	m <sup>2</sup>	592	
電子複写機使用料		2	台	356	
その他（電話料、機器保守委託等維持管理費）		1,351			
(2) 事業実績	<p>利用者の年間延べ人数は2施設で21,069名となっています。施設の整備では、杉九ゆうゆうハウス出入口の自動ドアの、挟み込み防止対策工事の実施や鳥類による落下物等の被害対策のため、出入口付近の樹木剪定などを実施しました。西田ゆうゆうハウスは、学校校門とつなぐインターフォン設備の工事等を行いました。また、利用者の安全対策としては、両施設において避難経路案内図を大型化・カラー化を行うとともに、施設職員が避難誘導を的確に行えるよう指導しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>個人学習室利用率（個人学習室利用者数／個人学習室席数）                      （西田：H11～13、90%超、H25 70.3%、H26 73.4%、H27 72.5%、H28 69.5%、H29 65.1%）                      （杉九：H11～13 100%超、H25 78.0%、H26 86.5%、H27 85.7%、H28 89.1%、H29 97.5%）</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>利用者アンケートでの満足度は高く、朝早くから夜遅くまで開いていることや利用料が無料であることへの感謝の声が多く寄せられています。一方で、現在の2施設以外の地域にも学習の場を設置して欲しいという要望が寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>現在、2施設とも一定の利用者があることから、当面は現在の形態で運営を行っていきますが、現施設は小学校の余裕教室を活用しているため、地域の児童数の変化や施設の老朽化などにより、検討が必要になります。                      今後の学習施設（または学習スペース）のあり方については、区民ニーズを捉え、地域偏在や運営コストなども考慮しながら、図書館の改修・改築に伴う図書館施設の利用などを踏まえて検討します。</p>			
	評価と課題	<p>西田ゆうゆうハウスの利用率が月平均65%、杉九ゆうゆうハウスは97.5%と2施設の平均でもここ数年70%から80%台の利用率で推移しています。利用者も、高齢の方や資格を取るために勉強をする方など、生涯学習、社会教育活動の場として有効に活用されています。                      地域偏在があることから、同様の施設を望む声がありますが、現在の学校の余裕教室の有効利用という形での新規設置は困難と思われます。また、近年児童数が増加していることや、施設の老朽化の課題もあるので、現2施設もあわせてあり方の検討が必要です。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>2施設については、利用者が延べ2万人以上おり、生涯学習や社会教育活動の場の提供という事業目的には寄与していることから、来年度も現状で運営していきます。                      新たな学習施設（または学習スペース）のあり方については、一定の方向性が検討された時点で、計画的に対応していきます。</p>			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00519)

事務事業名称 社会教育の振興			款 07	項 05	目 01	事業 003	整理番号 548			
現担当課名 生涯学習推進課		係名 管理係	連絡先 電話番号 1662			昨年度 整理番号 534				
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成 8年度								
	平成29年度 担当課名	生涯学習推進課					事業評価区分 一般			
	対象	社会教育活動を行う個人及び団体		根拠法令等 (1)	杉並区教育委員会後援等名義使用承認事務取扱要綱					
				(2)	杉並区生涯学習活動の指導者傷害保険取扱要綱					
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区民の生涯学習活動の活性化と、社会教育関係団体の活動を支援するとともに、区内の高等教育機関と行政や地域との連携協働を推進する。次世代を担う子どもが、名寄市での自然交流体験を通して、健やかに成長することができるように支援する。			活動指標 指標名(1)	生涯学習指導者傷害保険加入指導者数					
				指標説明 指標名(2)	大学連携協働推進協議会等開催回数					
				指標説明						
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			教育委員会後援等名義使用承認による社会教育関係団体の活動支援 区と区内高等教育機関(明治大学・高千穂大学・女子美術大学・東京立正短期大学・立教女学院短期大学・東京女子大学)との包括協定(平成23年12月2日締結)に基づく連携協働の推進 生涯学習活動の指導者傷害保険への加入による団体指導者等への活動の支援 小学生名寄自然体験交流 小学5・6年生25名 北海道名寄市に派遣(2泊3日)							
			成果指標 指標名(1)	指導者傷害保険加入団体会員数						
			指標説明 指標名(2)	後援名義使用承認事業数						
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画	平成28年度 実績	平成29年度 計画(目標値)	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成29年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	3,730	5,000	3,668	5,000	3,500	5,000	70.0	
	活動指標(2)	2 件	5	5	3	5	3	5	60.0	
	成果指標(1)	3 人	60,520	70,000	59,423	70,000	58,766	70,000	84.0	
	成果指標(2)	4 件	152	150	155	150	158	150	105.3	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	5,444	7,203	4,610	6,996	2,231	7,863	平成29年度 予算執行率(%) 31.9	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 小学生名寄自然体験交流事業の旅費を早割の活用により経費を縮減したこと、事業実施当日の悪天候により、2泊3日の事業が日帰りに変更となり、事業実施委託費が大幅に縮小したため、予算が執行残となりました。	
	(内)委託費	7 千円	3,317	3,131	2,175	2,722	422	3,777		
	職員数	常勤職員数	8 人	2.10	2.00	2.10	2.00	2.07		2.00
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.20	0.60	0.60	0.80	0.80		0.80
	人件費	常勤職員分	11 千円	18,369	17,494	17,980	17,124	17,783		17,182
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	587	1,761	1,783	2,377	2,355		2,355
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	24,400	26,458	24,373	26,497	22,369	27,400		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	6,542	5,292	6,645	5,299	6,391	5,480		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	24,400	26,458	24,373	26,497	22,369	27,400		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	548
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		小学生名寄自然体験交流	24	人	776
		生涯学習活動を行う指導者を対象とした傷害保険料の支出	3,500	人	601
		連携協議会開催	3	回	185
		通信費・管理事務費ほか			210
		その他(夏休み情報カレンダー)			459
(2) 事業実績	<p>小学生名寄自然体験交流事業は、1名の辞退者で24名が名寄に派遣となりましたが、当日の悪天候で飛行機が旭川空港に着陸できず、名寄には行けませんでした。3回の事前学習会で名寄とのインターネット交流等を行ったほか、最後に交流会を開催して今回の学習のまとめを行いました。指導者を対象とした傷害保険は、他保険と重複加入の精査を行い、加入者の適正化を図りました。六大学連携は協働推進協議会を開催し、各大学の公開講座を紹介した情報誌発行、学生のすぎなみフェスタへの参加、リカレント教育の取組状況についての情報共有や意見交換などを行いました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>小学生名寄自然体験交流事業を平成24年度より開始。5.6年生25名を名寄市に派遣。生涯学習活動の指導者傷害保険契約人数(稼働人数/日) H25:78団体3,821人、H26:77団体3,700人、H27:82団体3,730人、H28:78団体3,668人、H29:79団体3,500人。                      後援等名義使用承認件数 H25:154件、H26:152件、H27:152件、H28:155件、H29:158件。                      杉並区と区内高等教育機関との連携協働推進協議会開催延回数 H25 4回、H26 3回、H27 5回、H28 3回、H29 3回。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>交流事業は、参加した児童の保護者から「大自然の中で得た経験は、これから人生を歩む上で、本人の支えとなって行くと思います」といった意見が多数あり、当初の目的は概ね達成できています。今後は、児童の体験を一人でも多くの子どもたちに還元するとともに、広く区民の方に学習成果発表会へ参加いただけるよう、より一層充実を図ることが求められています。                      傷害保険は、区民が安全に安心して活動できることに貢献しており、今後も継続的な支援が望まれます。                      後援等名義使用承認は、広報紙掲載等により、団体活動の支援となっているのご意見をいただいています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>交流事業は、児童や保護者から好評な事業で、現状規模で事業を継続しますが、平成24年に開始していることから、一定の時期に他の交流事業も視野に入れながら、検証することが必要と考えます。                      傷害保険は、平成29年に他保険との重複加入者が削減され、加入者の適正化を行いました。今後も適宜事業の確認を行い、コストの削減に努めます。                      後援等名義使用承認は、区民の生涯学習活動の支援となり承認件数が増えることで区民の活動が活発になることは望ましいことですが、活動内容は十分に精査して承認する必要があります。                      六大学連携は、今後の大学のあり方を踏まえながら、区民や地域との連携を進めていきます。</p>			
評価と課題	<p>後援等名義承認件数や指導者傷害保険の加入者は一定数で推移しており、区民の生涯学習活動活性化支援の成果と考えます。また、大学連携は、地域や区民と区内六大学との関係が繋がるよう、情報誌などで区民が参加できる大学の活動をお知らせしています。今後は、多様化する区民ニーズに合った支援を継続していくことが大切です。                      交流事業は、現地の体験学習だけではなく、他校の児童との共同事前学習や事業終了後に学習成果発表会を行うなどして、児童の体験学習を支援しました。また、OB児童が次年度の学習会で体験談を話すなど、事業を通して多くの経験をしています。一方、区の交流事業は次世代育成基金を活用するため、多くの児童が平等に参加できるよう、関連部署と連携・調整を図っていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>交流事業の予算は、引き続き次世代育成基金を活用して、現状と同規模で行います。事業費のうち旅費については、現行制度の中で、執行段階で経費節減に努めていきます。                      六大学連携は、各大学との連携・協力体制を維持し、情報誌の発行を行うなど、現状予算規模で行っていきます。                      後援等名義は、区長部局や教育委員会内での情報共有に努めて、区民の生涯学習活動支援に努めていきます。                      指導者傷害保険は、引き続き加入資格の精査に努め、適正に給付が行えるようにしていきます。</p>			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00520)

事務事業名称 学校開放施設の団体・区民利用等			款 07	項 05	目 01	事業 004	整理番号 549			
現担当課名 学校支援課		係名 学校開放担当係		連絡先電話番号 1646		昨年度整理番号 535				
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業				
事業開始 昭和58年度										
平成29年度担当課名 学校支援課		事業評価区分 一般								
対象 区内在住・在勤・在学者		根拠法令等 (1) 社会教育法第44、45、47、48条 (2) スポーツ振興法第13条								
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 学校施設を区民のスポーツ・文化活動や遊び、憩いの場として有効に活用するとともに、区民の自主的活動を支援し、学校を中心とした地域のコミュニティ意識の高揚を図る。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		学校開放延開放回数(遊びと憩いの場・登録団体・プール)  学校開放登録者総数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段) 「遊びと憩いの場」として、小学校(杉十小学校、新泉和泉小学校を除く)の校庭を、水、土、日曜日、祝日、学校休業日(年末年始を除く)の決められた時間に、児童及び幼児、高齢者に開放する。スポーツ・文化活動の場として、児童及び生徒が使用していない時間に、小・中学校の校庭(杉十小学校を除く)・体育館・教室を、登録した団体に開放する。身近に利用できる遊泳場として、一部の小・中学校のプールを夏休みの一定期間に開放する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		遊びと憩いの場延べ利用者数  登録団体延べ利用者数					
	区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画 実績		平成29年度 計画(目標値) 実績		平成30年度 計画	平成29年度 対計画比(%)
	活動指標(1)		1 回	33,543	38,000	33,937	38,000	32,446	37,850	85.4
活動指標(2)		2 人	16,535	17,000	15,507	17,000	15,301	17,000	90.0	
成果指標(1)		3 人	131,449	140,000	133,216	140,000	109,973	137,500	78.6	
成果指標(2)		4 人	784,861	800,000	784,467	800,000	759,971	800,000	95.0	
事業費		5 千円	85,192	88,934	83,829	92,915	85,783	95,399	平成29年度 予算執行率(%) 92.3	
(内)投資的経費等		6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
(内)委託費		7 千円	26,679	30,592	27,730	32,747	30,854	32,844		
職員数	常勤職員数	8 人	3.12	3.00	3.23	3.00	3.09	3.00		
	再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	非常勤職員数	10 人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		
人件費	常勤職員分	11 千円	27,291	26,241	27,655	25,686	26,546	25,773		
	再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0		
	非常勤職員分	13 千円	2,935	2,935	2,971	2,971	2,944	2,944		
総事業費(5+11+12+13)		14 千円	115,418	118,110	114,455	121,572	115,273	124,116		
単位当たりコスト((14-6)÷1)		15 円	3,441	3,108	3,373	3,199	3,553	3,279		
財源	受益者負担分	16 千円	14,848	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	19 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計(16+17+18+19)	20 千円	14,848	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源(14-20)	21 千円	100,570	118,110	114,455	121,572	115,273	124,116		
受益者負担比率(16÷14)		22 %	12.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	549
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		学校開放指導員謝礼の支出	39	校	20,287
		学校開放に伴う光熱水費	64	校	22,523
		プール開放運営委託	9	校	16,945
		学校施設維持管理費			19,467
		その他(備品購入費・保険料ほか)			6,561
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>平成28年9月から区立公園の保育施設転用に伴う遊び場の代替措置として実施していた久我山小学校及び桃井第五小学校の「遊びと憩いの場」開放の拡充措置は、桃井第五小学校については近隣に代替施設が設置されたことから平成29年11月をもって終了しました。</p> <p>プール開放については、けやき公園プール廃止に伴う代替措置として新たに馬橋小学校のプールを開放し計9校で実施しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>学校開放が現在とほぼ同様の仕組みとなったのは、昭和61年度です。当時と比し「遊びと憩いの場」開放については利用者が半減する一方、団体開放については、登録団体数としては1.3倍、利用人員数は2.3倍に増えています。</p> <p>学校支援本部の活動や中学校の部活動、また土曜授業など学校使用の増加により、登録団体が利用できる時間は減少しています。</p> <p>なお、平成27年1月から登録団体(少年団体を除く)の使用料を有料化しました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>学校開放事業に活用できる時間の減少に伴い、特に校庭を利用する登録団体からは利用時間の確保の要望があります。また、校舎改築等に伴い長期間施設が利用出来ない場合、代替施設の使い勝手等の見地から理解が得られないケースが多くなっています。さらに有料化に伴い、施設の設備や消耗品等の充実を求める意見があります。</p> <p>近隣住民からは、利用者の声・打球音や、学校付近での喫煙など利用者のマナーに関する苦情や意見が件数は減っていますが寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>小学生の放課後等居場所事業の拡充や高円寺の小中一貫校の開校に伴い、「遊びと憩いの場」開放の実施校は減少していきます。</p> <p>団体開放についても登録団体が利用できる施設、時間が減少していきますので、可能な限り登録団体が活動する施設、時間を確保するように調整していきます。</p>			
	評価と課題	<p>校舎建設工事により校庭が使用できず、「遊びと憩いの場」開放の休止や登録団体の活動ができなくなった学校がありました。プール開放では、けやき公園プール廃止に伴う代替措置として馬橋小学校のプール開放を実施する等、学校開放事業はほぼ順調に行われています。</p> <p>今後、多くの学校で施設の長寿命化改修工事が実施されれば、校庭等が長期間使用できなくなる事が予想されます。そのため、登録団体の活動をできるだけ確保していく工夫をしていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>小学生の放課後等居場所事業の実施等、学校施設は地域の拠点施設として多方面での活用が望まれていることから、各校長・副校長或いは利用者団体協議会(全中学校と杉一小・杉十小に設置された利用調整機関)とも情報共有を密にしながら連携を深め、効果的・効率的な学校施設の地域開放を実施していきます。</p>			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00521)

事務事業名称		文化財調査・保護			款	07	項	05	目	01	事業	005	整理番号	550
現担当課名		生涯学習推進課			係名			文化財係			連絡先電話番号	1666	昨年度整理番号	536
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度												
	平成29年度担当課名	生涯学習推進課										事業評価区分	一般	
	対象	区内所在の文化財 区指定登録文化財の所有者・保持者等及び区民一般			根拠法令等	(1)		文化財保護法						
						(2)		杉並区文化財保護条例						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区内の文化財を保護する。 文化財所有者及び区民が文化財を理解し、これを保存・活用できる。			活動指標	指標名(1)		埋蔵文化財窓口照会件数						
					指標説明		杉並区文化財指定登録総件数							
					指標名(2)									
					指標説明									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	文化財調査を進め、必要と認められたものを登録文化財とし、重要なものを指定文化財として保存、刊行物や案内標示板等を媒体として、情報を提供、区内団体などと協働し、文化財の公開や文化財保護思想の普及を図る。 埋蔵文化財の適切な保護・保存を図り、活用に資する発掘調査を実施する。 国の史跡指定を受けた荻外荘の歴史的価値等を限定公開や講演会開催等で広く区民等に周知する。近衛文麿関係資料等の定期的な調査を継続実施する。			成果指標	指標名(1)		埋蔵文化財調査延べ日数							
					指標説明		杉並区文化財保護奨励金の交付件数							
					指標名(2)									
					指標説明									
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1 件	3,003	3,000	3,198	3,000	3,089	3,000	103.0					
	活動指標(2)	2 件	145	147	146	147	146	147	99.3					
	成果指標(1)	3 日	237	250	265	250	406	320	162.4					
	成果指標(2)	4 件	116	118	118	118	117	118	99.2					
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	14,789	14,431	11,830	13,628	10,399	14,235	平成29年度 予算執行率(%)	76.3				
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	100	72	100	特記事項					
	(内)委託費	7 千円	4,862	4,880	3,780	6,901	5,627	6,430	合計4件の本調査がありましたが、都費負担、事業者負担の調査だったため、区負担件数が想定件数より下回り、区の発掘調査費に減が生じました。					
	職員数	常勤職員数	8 人	3.11	3.00	3.10	3.00	3.05	2.00					
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00					
		非常勤職員数	10 人	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00					
	人件費	常勤職員分	11 千円	27,203	26,241	26,542	25,686	26,203	17,182					
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	4,428					
		非常勤職員分	13 千円	14,675	14,675	14,855	14,855	14,720	14,720					
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	56,667	55,347	53,227	54,169	51,322	50,565						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	18,870	18,449	16,644	18,023	16,591	16,822						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円	2,000	2,000	1,420	2,100	1,720	2,000					
		都からの補助金等	18 千円	1,000	1,000	710	1,050	860	1,000					
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	3,000	3,000	2,130	3,150	2,580	3,000						
差引：一般財源(14-20)		21 千円	53,667	52,347	51,097	51,019	48,742	47,565						
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	550	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単 位	事業費（千円）
		指定登録候補等調査委託	2	件	300	
		指定登録文化財保護奨励	117	件	1,805	
		埋蔵文化財調査委託	10	件	3,603	
		文化財案内標示板等作成・修理	7	基	1,588	
		その他（文化財保護審議会の運営、刊行物発行ほか）			3,103	
	(2) 事業実績	<p>区指定有形文化財（歴史資料）として、「荻外荘近衛家関係資料」866点を文化財指定しました。陽明文庫所蔵近衛文麿関係資料の調査を計5回、陽明文庫と共同で実施しました。荻外荘残存資料のクリーニング作業等に文化財ボランティアの協力を得ました。都市整備部門と協力し、平成30年度策定予定の荻外荘整備基本計画の策定作業を実施しました。埋蔵文化財包蔵地の発掘調査（本調査）を4件実施しました。文化財シリーズ「杉並の民家その三」を刊行しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>文化財の保護のために、毎年、文化財の調査を進めています。その結果として、文化財シリーズの発行や文化財案内標示板等の設置を行うとともに、史跡散歩を趣味にする方の声に応えるために「杉並区史跡散歩地図」を発行しています。近年、文化財に対する興味・関心は一層高まっており、文化財部門に対する要望も多様化・複雑化しているため、文化財の活用も求められています。また、平成24年に購入した荻外荘が、日本政治史上重要な場所として平成28年3月国の史跡に指定され、復原に向けた取組を進めるため、広く区民等に周知しています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>地域の歴史や文化に対する興味・関心の高まりに伴い、この事業への期待も高まっています。「杉並区史跡散歩地図」は好評で、毎日のように頒布を求める区民が来庁します。区内の文化財について、所有者の高齢化等で維持管理が難しくなっている箇所が生じており、区からの支援が求められています。係の専門職員が全員非常勤職員であるため、文化財保護審議会委員等から常勤職員配置の要望が寄せられています。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>荻外荘整備・復原のために、平成30年度の整備基本計画策定、その後、基本設計、実施設計、建物復原と着実に実施していきます。この計画を円滑に進めるために、荻外荘や近衛文麿関係資料調査を継続して行い、広く区民等に周知する取組も継続していきます。文化財指定については、荻外荘の大量の資料の調査と区有形文化財指定が終了したので、地域に潜在する文化財の掘り起こしを再開し、指定候補を提案していきます。</p>				
	評価と課題	<p>文化財保護法により文化財を適切に保存するために、保管が義務づけられている埋蔵文化財の安定した保管場所の確保が必要な課題となっています。文化財保護法の改正に伴い、荻外荘等、文化財の活用資するため、「文化財保存活用地域計画」の策定について検討する必要があります。指定登録文化財候補について、新たな調査や聞き取りなどにより、区内に潜在している文化財の把握が必要です。国の史跡に指定された荻外荘を活用・保存・整備していくために、引き続き都市整備部門と連携を強化し、復原に向けた取組を推進していくとともに寄附金の確保も重要な課題です。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>文化財保護法・杉並区文化財保護条例及び関連分野の法規範との整合性を図りつつ、区民の求める文化財行政を効果的に進めていく必要があります。荻外荘の保存、活用、整備について、都市整備部門と連携を強化し、文化財部門として、文化庁への働きかけや復原するための情報収集、広く区民等への機運醸成の役割を果たしていきます。区内に潜在している文化財の調査を進めます。文化財保護ボランティアについては、継続的に活動を進めていけるよう、研修会の実施や情報提供、活動機会の提供を行っていきます。</p>				

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00523)

事務事業名称		社会参加支援			款	07	項	05	目	01	事業	007	整理番号	552		
現担当課名		生涯学習推進課			係名			社会教育センター			連絡先電話番号	4712	昨年度整理番号	538		
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和44年度														
	平成29年度担当課名	生涯学習推進課														
	対象	義務教育終了後の知的障害者 区内在住、在勤、在学の外国人			根拠法令等	(1)		社会教育法第3、5条								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害を持った方や日本語の習得が必要な外国人等が、自立して社会参加できるようにする。			活動指標	指標名(1)		済美日曜教室延べ参加者数								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	済美日曜教室 教養講座や近郊へ出かける社会見学等の体験学習を実施 にほんご教室 レベル別に5クラス設定し、区内団体との共催で、年3期実施			指標説明	指標名(2)		にほんご教室延べ参加者数								
				成果指標	指標名(1)		済美日曜教室参加率									
				指標説明	指標名(2)		済美日曜教室延べ参加者数÷済美日曜教室延べ登録者数									
				指標説明	指標名(2)		にほんご教室1回当たりの出席者数									
				指標説明	指標名(2)		にほんご教室延べ参加者数÷実施回数									
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	人	950	900	932	900	879	900	97.7						
	活動指標(2)	2	人	1,862	1,800	1,737	1,800	1,731	1,800	96.2						
	成果指標(1)	3	%	79.0	70	64.9	70	68.9	70	98.4						
	成果指標(2)	4	人	30	30	28	30	27	30	90.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	6,385	6,572	4,870	6,895	4,453	6,265	平成29年度 予算執行率(%)	64.6					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	1,436	525	522	525	525	525	済美日曜教室のボランティア数が減少したことにより、宿泊等体験学習への参加者定員も減り、使用料・賃借料が下がりました。また、にほんご教室の託児実績も予定を下回りました。これらにより、予算執行率が90%を下回りました。						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.70	1.30	1.37	1.30	1.36	1.40						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	1.20	1.20	1.30	1.20	1.20	1.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	14,870	11,371	11,730	11,131	11,684	12,027						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	3,522	3,522	3,862	3,565	3,533	2,944						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	24,777	21,465	20,462	21,591	19,670	21,236							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	26,081	23,850	21,955	23,990	22,378	23,596							
	財源	受益者負担分	16	千円	246	242	254	336	198	231						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	246	242	254	336	198	231							
差引：一般財源(14-20)		21	千円	24,531	21,223	20,208	21,255	19,472	21,005							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	1.0	1.1	1.2	1.6	1.0	1.1								

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 552		
平成29年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	済美日曜教室（教養講座13回、体験学習2回）の開催	15	回
にほんご教室の開催		63	回	800
その他（ ）				
(2) 事業実績	<p>済美日曜教室の登録者は85名で、事業運営のボランティア数は平均16名でした。活動としては、教養講座のほか、日頃の部活動の成果を発表する「済美文化の日」の開催、宿泊・遠足及び社会科見学などを実施しましたが、会場の関係で年16回実施する予定が15回になりました。</p> <p>にほんご教室には、1年間で108名の外国人が参加しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>済美日曜教室は青年学級振興法のもと、済美青年学級として昭和44年に開始しました。平成12年、根拠法令廃止により、名称を変更して知的障害者の学習・余暇事業として継続しています。年々障害の程度が重い方や重複障害の方が増加しており、また高齢化も進行しています。</p> <p>にほんご教室は外国人が日本語を基礎から学ぶ学習の場として平成3年度に開始しました。国際化が進む中、日本語を習得しながら、参加者同士で悩みを相談し合うなど、交流の場としての役割も担っています。</p>		
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>済美日曜教室の参加者の多くは休日も家族と過ごす割合が高く、日曜日に家族以外の人と交流ができる事業は大きな期待が寄せられています。</p> <p>にほんご教室は、夜間に開催しているため、「仕事帰りに参加できる」「子どもを預けて勉強できる」という多くの参加者からの声があります。また学習者にとって、にほんご教室が日本の生活との窓口になり「居場所」の提供にもつながっています。</p>		
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>平成28年4月1日「障害者差別解消法」が施行されるなど、障害者の社会参加に向けた環境整備が進む中、必要な支援策のひとつとして学習支援活動が求められています。</p> <p>区内における外国人住民の人口は、平成26年度10,755人、平成27年度11,680人、平成28年度13,159人、平成29年度、14,788人、平成30年度、16,406人（いずれも4月1日現在）と増加しており、今後もこの傾向が続くと見込まれ、引き続き外国人の日本語学習の支援が重要と考えられます。</p>		
	評価と課題	<p>社会参加支援事業は、様々な方の学習活動を支援しており、多くの区民の参加がありました。対象者の特性から、事業の実施には専門的知識やノウハウを有する人材の確保が不可欠です。そのため、専門性のある団体や区民ボランティアとの協働を図り、事業内容の充実に努めました。しかし、済美日曜教室は、継続参加者に新規の参加者が加わるため年々増加する傾向にあり、担い手となる区民ボランティアの確保が急務となっています。このため、関係部署との連携をさらに強め、安定した事業運営が行える方策を早急に見出すことが重要です。</p>		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持	
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）	
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>済美日曜教室は、参加者の安全を確保しながら地域参加や学習が深まるように、運営や内容について精査し、取り組んでいきます。そのためには、ボランティアの確保・拡充や研修を推進し、運営者間の情報共有に取り組みつ、地域団体や区内大学等との連携を進めていきます。</p> <p>にほんご教室は、増加する外国人住民の支援を行うため、教室運営団体との協働により事業内容を精査しながら、区内外国人に広く周知を図り、ニーズに合った学習機会を現状維持の予算規模で提供していきます。</p>		

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00524)

事務事業名称		社会教育センター運営			款	07	項	05	目	01	事業	008	整理番号	553	
現担当課名		生涯学習推進課			係名			社会教育センター			連絡先電話番号	4712	昨年度整理番号	539	
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成元年度													
	平成29年度担当課名	生涯学習推進課											事業評価区分	一般	
	対象	一般区民、自主活動団体、企業			根拠法令等	(1)		杉並区立社会教育センター条例							
						(2)									
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区内の社会教育活動の拠点として、広く区民等の利用拡大に努める。 区民や団体が、身近な地域で、生涯を通じて社会とのつながりを持ち続け、自発的な学習活動の実践につながるように、その活動を支援する。			活動指標	指標名(1)		施設利用回数							
					指標説明		社会教育に関する会議の人数								
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	施設の予約について、公共施設予約システム(インターネット、窓口に設置されているタッチパネル式パソコン、携帯電話のインターネットによる方法)で受け付ける。 社会教育に関心のある区民の参画を得て事業を推進する方策について、協議・実践・調査・研究等を行う。 地域における区民の自発的な各種学習活動を支援する。			成果指標	指標名(1)		稼働率								
					指標説明		施設利用回数÷施設利用可能回数								
					指標名(2)		社会教育に関する会議への出席率								
					指標説明		出席者の延べ人数÷(社会教育に関する会議の人数×会議開催数)								
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 回	5,323	10,914	5,896	10,914	5,307	10,914	48.6						
	活動指標(2)	2 人	8	8	42	20	19	20	95.0						
	成果指標(1)	3 %	49	100	59	100	49	100	49.0						
	成果指標(2)	4 %	100	80	50	80	95	80	118.8						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	6,468	7,820	6,658	7,110	6,538	7,173	平成29年度 予算執行率(%)	92.0					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	534	643	554	635	557	693							
	職員数	常勤職員数	8 人	1.80	1.50	1.30	1.10	1.10	1.20						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.30	0.40	0.50	0.60	0.60	0.40						
	人件費	常勤職員分	11 千円	15,745	13,121	11,131	9,418	9,450	10,309						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	881	1,174	1,486	1,783	1,766	1,178						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	23,094	22,115	19,275	18,311	17,754	18,660							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	4,339	2,026	3,269	1,678	3,345	1,710							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	23,094	22,115	19,275	18,311	17,754	18,660							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	553	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		社会教育センター運営経費(舞台用品の購入、ピアノの保守点検等)			
		その他( )			
	(2) 事業実績	社会教育に関する会議運営では、社会教育センター団体交流室登録団体のつながりづくりと社会教育活動推進のため、登録更新手続き説明会に合わせ、活動上の課題をテーマ別に設け、意見や情報を交換しました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>施設利用状況 平成元年度3,663回 平成10年度5,887回 平成20年度5,269回</p> <p>平成元年度～ 社会教育センター審議会 平成14年度～ 社会教育事業推進委員会(愛称:車座委員会) 平成27年度～ 社会教育事業推進組織</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>第14期社会教育委員の会議では、今後の展望として、科学教育に限らず「出前型・ネットワーク型」の事業展開により、幅広い区民の生涯学習・社会教育の充実と地域づくりが期待されており、関係機関や様々な団体等との連携や協働を通じて、ネットワークの充実をさらに図っていくことが求められています。</p>			
	今後(3～5年)の予測と方向性	<p>施設の老朽化に伴う改修が必要となっています。また、本格的な少子高齢社会を迎え、誰もが安心して暮らすことができる地域社会を形成していくとともに、ライフステージに即した学びあいや学び直しができる生涯学習社会への要望が高まると予測されます。</p>			
	評価と課題	<p>社会教育事業推進組織では、団体交流室登録団体の登録更新手続き説明会に合わせ、社会教育活動に関わる意見や情報交換を行うことができました。参加団体からは「他団体の活動が分かり有益だった」「大変参考になった」と好評でした。今後もできるだけ多くの団体が参加しやすいように、時間帯の設定やテーマを工夫していきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・対象の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>地域づくりのためには、区民一人ひとりがそれぞれの役割を見出し、地域や社会の問題・課題の解決にあたることが重要です。そのためには、社会教育に関わる団体等と連携し、様々な切り口によって、広く区民の地域参加・参画を促すことが必要です。引き続き、社会教育に関わる団体の話しあいや学びあいの場を設けることで、実施主体に抛らず豊かに社会教育事業が行われるよう図っていきます。</p>			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00525)

事務事業名称		社会教育団体協働事業			款	07	項	05	目	01	事業	009	整理番号	554	
現担当課名		生涯学習推進課			係名			社会教育センター			連絡先電話番号	4712	昨年度整理番号	540	
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和26年度													
	平成29年度担当課名	生涯学習推進課											事業評価区分	一般	
	対象	区内在住・在勤・在学者 各種社会教育団体			根拠法令等	(1)	社会教育法第3、5条、13条			(2)	大学公開講座実施要綱、杉並区文化団体連合会補助金交付要綱等				
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区民や関係団体と事業を共催することにより、区民の生涯学習や文化・芸術活動の参加の機会を提供するとともに、関係団体の活動を活性化する。			活動指標	指標名(1)	講座回数(大学公開講座、ユネスコ活動)			指標説明					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	杉並区文化団体連合会と共催で総合文化祭を実施する。区内6大学と共催し公開講座を実施する。杉並ユネスコ協会と共催等により、国際理解を深め平和の推進を図る事業を実施する。社会教育活性化支援プログラムを実施する。			成果指標	指標名(1)	総合文化祭の延べ来場者数			指標説明					
				指標名(2)	受講者数			指標説明	大学公開講座、ユネスコ活動						
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	回	60	65	68	65	68	65	104.6					
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3	人	14,128	16,000	14,019	16,000	13,728	16,000	85.8					
	成果指標(2)	4	人	2,186	2,250	2,557	2,300	2,700	2,300	117.4					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	6,583	7,543	6,493	7,717	6,795	7,427	平成29年度予算執行率(%)	88.1				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 大学公開講座の一部講座中止及び社会教育活性化支援プログラム託児委託金の残等により、予算執行率は90%を下回りました。					
	(内)委託費	7	千円	10	139	7	126	10	59						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.60	1.50	1.50	1.10	1.20						1.40
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						0.00
		非常勤職員数	10	人	0.60	0.60	0.90	1.00	0.90						0.80
	人件費	常勤職員分	11	千円	13,995	13,121	12,843	9,418	10,309						12,027
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0						0
		非常勤職員分	13	千円	1,761	1,761	2,674	2,971	2,650						2,355
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	22,339	22,425	22,010	20,106	19,754	21,809						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	372,317	345,000	323,676	309,323	290,500	335,523						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0						0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0						0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0						0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	22,339	22,425	22,010	20,106	19,754	21,809						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 554

平成29年度の事業実施状況	内 容		規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	大学公開講座共催分担金の支出		6	団体
杉並区総合文化祭分担金の支出		1	回	4,000	
文化団体連合会補助金の支出		1	団体	350	
ユネスコ活動分担金の支出		1	団体	778	
その他（社会教育活性化支援プログラムの実施）				327	
(2) 事業実績	<p>関係団体の自主性を尊重しながら、活動を活性化させるとともに、区民の生涯学習や文化・芸術活動事業への参加を促進しました。また、平和・国際理解推進活動など、年間を通して各団体と区民が参加できる共催事業を実施しました。</p> <p>社会教育活性化支援プログラムでは、持続可能で心豊かな地域づくりを目指し、学びあい支えあう「杉並」での「未来」の「生活（ライフ）」をどのようにつくっていくかを区民自身が考え実践できるように、様々な事例や手法などを学ぶ講座「スギナミライフ学」を実施しました。</p>				

事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>杉並区総合文化祭は、昭和26年度に4団体で第1回目を開催し、その後、参加団体が増え、平成29年度は28団体で第67回目を実施しました。</p> <p>区内大学公開講座実施校は、昭和60年度に4大学でスタートし、平成5年度に5大学となり、平成13年度からは区内の全大学6大学で実施しています。</p> <p>杉並ユネスコ協会は、1951年9月に設立された以降、区との協働を続け、昨年9月で66周年を迎えました。</p> <p>社会教育活性化支援プログラムは、平成25～26年度、文部科学省における「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」の採択をきっかけに平成27年度から開始しました。</p>
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>総合文化祭の「区民文化の日」は、区民の発表の場として定着し、参加者に喜ばれています。大学公開講座は、各大学とも特色ある講座を実施し、区民に好評な取り組みとなっています。ユネスコ協会との共催事業では、第2回目となる「ユネスコのつどい」では参加者が170名、サイエンスフェスタに出展した「親子科学教室」では昨年を上回る90名の参加がありました。また、「中学生クラブ」も年間を通して活発に活動しており、いずれの取り組みも参加者からは満足度の高い事業との声が多く寄せられました。社会教育活性化支援プログラムの講座では、90歳の方に戦前の暮らし方を聞く「90歳ヒアリング」を通して「今と昔の価値観の違いに気付くことができた」「自分自身の振り返りになった」という感想をいただきました。</p>
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>文化・芸術、スポーツ、教養・学習など多種多様な社会教育活動を担う団体への期待は大きく、参加している方々は、子どもから若年層、お年寄りまで幅広く、全ての世代で今後も活動意識が高まっていくものと予想されます。</p> <p>一方では、文化団体連合会会員の世代交代が順調に進んでいないことや、次世代への文化・芸術の継承を適切に行っていくことが必要と考えています。</p>
評価と課題	<p>各団体の特色を活かした事業の実施は、参加者から好評を得ています。しかしながら、活動経験の長い団体の運営は安定感がありますが、一方で新鮮味に乏しい面があることは、否めない状況になっています。また、いずれの団体も世代交代が円滑に行われないことから、組織の硬直化は免れず、事業のマンネリ化につながる傾向にあります。</p> <p>文化団体連合会への補助金については、今後も前年度の収支決算及び事業実施状況を総合的に考慮の上、翌年度の予算編成の中で適正性を確保していきます。</p>	

翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
翌年度の方針	<p>時代背景や区民のニーズに的確に応えられるように、既存の団体に対し、地域で活動する他の団体の情報や活動場所などを提供しながら、新たな事業の実施を促し、団体の活動を活発にしていきます。</p>	
翌年度予算の方向性の理由・内容		

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00526)

事務事業名称 成人学習支援			款 07	項 05	目 01	事業 010	整理番号 555			
現担当課名 生涯学習推進課		係名 社会教育センター			連絡先電話番号 4712	昨年度整理番号 541				
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成元年度								
	平成29年度担当課名	生涯学習推進課				事業評価区分	一般			
	対象	一般区民	根拠法令等	(1)	社会教育法第3、5条					
				(2)	杉並区立社会教育センター条例					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	多様な区民が身近な地域で学び合い、その成果を生かすことができるよう多様な学びの場や機会を創出する。また、区民が地域づくりの担い手として、主体的に参加・参画する場を提供する。		活動指標	指標名(1)	すぎなみ大人塾(3コース等)延べ参加者数				
			指標説明	指標名(2)	区民企画講座コース数					
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	地域社会の担い手を育む学習の場として、現代的課題の解決や、コーディネート力を培う高度な講座を開催する。地域とのかかわりが薄い若者や、地域住民等を対象に、地域の課題を自ら考える機会となる講座運営を行う。		成果指標	指標名(1)	大人塾の年間講座出席率					
			指標説明	指標名(2)	大人塾年間出席者実数÷年間大人塾参加者延べ数					
			指標説明	指標名(2)	地域との協働による区民企画講座の実施率					
			指標説明	指標名(2)	地域との協働による講座実施数÷実施講座全数					
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度	
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	1,621	1,200	1,226	1,200	1,688	1,200	140.7	
	活動指標(2)	2 コース	1	3	3	3	3	3	100.0	
	成果指標(1)	3 %	63	65	50	65	57	65	87.7	
	成果指標(2)	4 %	100	60	100	60	67	60	111.7	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	2,999	4,044	2,667	4,055	3,096	4,057	平成29年度 予算執行率(%) 76.4	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 実績に基づく講師等謝礼金、託児委託金の残等により、予算執行率が90%を下回りました。	
	(内)委託費	7 千円	294	580	301	543	207	550		
	職員数	常勤職員数	8 人	2.00	2.00	2.00	1.80	1.90		1.90
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	1.50	1.70	1.90	1.80	1.90		1.80
	人件費	常勤職員分	11 千円	17,494	17,494	17,124	15,412	16,323		16,323
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	4,403	4,990	5,645	5,348	5,594		5,299
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	24,896	26,528	25,436	24,815	25,013	25,679		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	15,358	22,107	20,747	20,679	14,818	21,399		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	24,896	26,528	25,436	24,815	25,013	25,679		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	555
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		すぎなみ大人塾の開催	3	講座	2,473
		区民企画講座の開催	3	講座	356
		社会教育セミナーの開催	1	講座	267
		その他( )			
(2) 事業実績	<p>すぎなみ大人塾は、平成29年度からコース編成を変更し、総合コース1講座、地域コース(西荻窪・高円寺)2講座を開催しました。また、地域課(地域大学)との共同事業を3回実施して、合計1,688名の参加がありました。区民企画講座は、高校生・大学生が、区内教育関係者等の協力を得ながら、自らの課題や興味関心をもとに3講座を企画し、合計51名の参加がありました。社会教育セミナーでは、身近な自然の持つ力や自然と自らの生活との関わりを学ぶことで、未来のライフスタイルについて考える「すぎなみ大自然発見」を開催し、18名の参加がありました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>区民意向調査における調査結果 「ボランティア活動経験」がある 平成18年度22.0% 平成22年度22.6% 平成27年度24.7% 平成29年度25.1% 取り組んでいる社会活動参加状況のうち社会貢献・社会参加活動の割合 平成18年度4.3% 平成22年度5.2% 平成27年度4.8% 平成29年度6.3%</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>参加者からは「地域に一步踏み出すきっかけとなった」、「自分たちで考え行動していくことを学んだ」、「地域に貢献する活動をしたくなった」という感想が寄せられ、地域づくりの担い手となる層の発掘・育成につながっています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>文科省は、平成29年3月『人々の暮らしと社会の発展に貢献する持続可能な社会教育システムの構築に向けて』論点整理を出しました。今後の社会教育に期待される3つの役割として、地域コミュニティの維持・活性化への貢献、社会的包摂への寄与、社会の変化に対応した学習機会の提供が掲げられ、ますます学びの成果を地域づくりの実践につなげる「地域課題解決学習」が重要になります。また、第14期杉並区社会教育委員の会議のまとめでは、区民を主体として、身近な地域施設等を有効活用して行う「出前型・ネットワーク型」の社会教育事業展開が期待されています。さらに大人塾事業と地域大学事業においては、今後講座の目的や方法について、事業の精査を行っていきます。</p>			
評価と課題	<p>すぎなみ大人塾はコース編成を変更し、総合コースのほか、その地域で活動する卒業生が地域コースの企画運営を行ったことで、継続的な学習への参加者が3倍に増えました。また、高円寺コースでは、寺や民間企業等の協力により、様々な場所で学びの場づくりを行いました。区民企画講座では、高校生・大学生が、同世代に向けて多様な価値観を学ぶ機会を提供するとともに、活動を通じて企画力やコミュニケーション力を育むことができました。社会教育セミナーでは、講座終了後、参加者有志が講師とともに自主グループを立ち上げ、新たに活動をスタートさせました。今後も、生涯にわたる区民の学びを支援し、地域づくりの担い手を育成する取組が必要です。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>第14期杉並区社会教育委員の会議のまとめを踏まえ、すぎなみ大人塾は、卒業生の参画による運営体制のもと、多様な区民が参加しやすい内容で実施していきます。区民企画講座は、若者に向けた社会教育事業として、教育関係者等と協働し、高校生・大学生の学習活動を支援していきます。社会教育セミナーは、現代的課題をテーマにした講座を関係機関等と連携し実施していきます。</p>				

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00527)

事務事業名称 郷土博物館の運営管理			款 07	項 05	目 01	事業 011	整理番号 556				
現担当課名 生涯学習推進課		係名 郷土博物館		連絡先電話番号 3317-0841		昨年度整理番号 542					
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業					
事業開始 平成元年度											
平成29年度担当課名 生涯学習推進課		事業評価区分 一般									
対象 一般区民、自主活動団体等		根拠法令等 (1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例									
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標		企画展・講座・教室等事業実施回数						
	歴史的・文化的資料の収集保存・調査研究等を行い、展示等の事業を通じて、広く杉並の歴史文化を紹介するとともに、区民の郷土に対する理解と関心ならびに愛着心の向上を図る。		指標名(1)		収蔵資料総数						
			指標名(2)								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		指標説明								
資料の収集・保管、調査・研究、寄贈・寄託を行う。展示、子ども博物館教室、講演会等各種行事を実施する。学校教育等への支援・連携を行う。研究紀要等を発行する。		成果指標		観覧者数							
		指標名(1)		本館及び分館の観覧者数の合計							
		指標名(2)		アンケート結果							
		指標説明		満足を3、普通を2、不満を1とした平均点							
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1 回	66	50	67	50	56	50	112.0		
	活動指標(2)	2 点	140,979	141,979	142,493	143,493	142,961	143,500	99.6		
	成果指標(1)	3 人	29,547	33,000	35,601	36,000	33,092	36,000	91.9		
	成果指標(2)	4 点	2.7	3.0	2.7	3.0	2.7	3.0	90.0		
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	18,379	15,061	12,867	12,986	12,074	14,214	平成29年度予算執行率(%) 93.0		
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	7 千円	7,004	4,231	3,718	3,042	3,012	3,788			
	職員数	常勤職員数	8 人	3.15	3.00	3.15	3.00	3.15	3.00		
		再任用職員数	9 人	1.76	2.00	2.01	2.00	2.00	2.00		
		非常勤職員数	10 人	11.33	10.83	12.00	12.00	13.01	12.00		
	人件費	常勤職員分	11 千円	27,553	26,241	26,970	25,686	27,062	25,773		
		再任用職員分	12 千円	7,285	8,278	8,824	8,780	8,856	8,856		
		非常勤職員分	13 千円	33,254	31,786	35,652	35,652	38,301	35,328		
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	86,471	81,366	84,313	83,104	86,293	84,171			
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	1,310,167	1,627,320	1,258,403	1,662,080	1,540,946	1,683,420			
	財源	受益者負担分	16 千円	1,613	1,508	1,639	0	0	0		
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	1,613	1,508	1,639	0	0	0			
差引：一般財源(14-20)		21 千円	84,858	79,858	82,674	83,104	86,293	84,171			
受益者負担比率(16÷14)	22 %	1.9	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0				

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	556
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		特別展・企画展・講座・教室等の開催	56	回	8,056
		郷土博物館運営協議会の開催	4	回	370
		博物館事業の運営管理経費			3,648
		その他( )			
(2) 事業実績	平成29年10月に杉並名誉区民である石井桃子生誕110年を記念した特別展「心にのこるおくりもの」を開催しました。そのほか、企画展や収蔵資料展など、本館と分館を合わせて、16件の展示会を開催しました。そのうち4件は協働推進計画に基づく区民参加型展示です。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成元年5月に大宮一丁目が開館しました。平成19年4月には天沼三丁目に分館が開館しました。観覧者数は、ここ10年来、2万6千~2万9千人台で推移していましたが、平成28年度からは3万人を超えるようになりました。これは、国史跡指定記念特別展「『萩外荘』と近衛文麿」や「8時だヨ！全員集合」など、区民の興味や関心を的確に捉えた展示会が実施されたためと考えます。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	展示・講座などの各種事業は、来館者から概ね高い評価を受けています。子どもから大人まで、幅広い年齢層に対応した事業展開や、杉並区ならではの企画設定が求められています。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて日本への関心が高まり、郷土博物館でも外国人の来館者が増えてきました。このため、これまでの英語版パンフレットを外国人の興味、関心に応える視点で見直し、平成29年度からは古民家での江戸時代体験を中心にした新しいパンフレットの配布を始め、ご好評をいただいています。今後も、来館者の動向を見ながら、多言語対応を考えていく必要があります。			
評価と課題	区民の皆さんに、杉並の歴史と文化を知っていただき、郷土への愛着心を高めてもらうため、様々な博物館活動をしています。観覧者数は、平成28年度から3万人を超えるようになり、特別展、企画展、講座、講演などの参加者からは、高い評価を受けています。これからは、区民参加型展示等を行いながら区民の皆さんが何を知りたいのか何をみたいのかを的確に把握するとともに、学芸員の企画力を向上し収蔵資料を活かした展示を実施することが課題です。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度予算の方向性の理由・内容	収蔵資料は区民の財産であり、単に保管するだけではなく、それらを活かした展示や講演などの事業展開を図ります。また、10年を経た区民参加型展示については、事前の学習段階から博物館が支援するなど、これまでの蓄積を活かした新しい事業展開を図ります。さらに、現在行っている体験参加型の事業や学校対応事業をより充実させていきます。そのためには、積極的な広報、PRを行い周知することで多くの参加者を呼び込み、より区民に親しまれる博物館を目指します。				

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00528）

事務事業名称		図書館運営		款	07	項	05	目	01	事業	012	整理番号	557						
現担当課名		中央図書館		係名		管理係		連絡先電話番号		4715		昨年度整理番号	543						
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業					
事務事業の概要	事業開始		昭和25年度		実行計画事業		目標 05		施策 29		計画事業 03		主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
	平成29年度担当課名		中央図書館										事業評価区分		一般				
	対象		図書館利用者及び団体（学校、保育園、ゆうゆう館など）		根拠法令等		(1)		図書館法		(2)		子どもの読書活動の推進に関する法律						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		誰もが学び続け、その成果を活かせる地域づくりを進めるため、本と親しめる環境を整備するとともに図書館利用の促進を図ることにより、区民の生涯にわたる学習と自立を支援していく。		活動指標		指標名（1）		蔵書数		指標名（2）		個人貸出冊数						
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		区民の課題解決や生涯学習を支援するため、レファレンスサービスの充実やデータベースの活用などを図る。 図書館システムの運用、インターネットパソコンによる情報発信及び情報提供を行う。 図書資料の選定、収集、保存及び廃棄を行う。 図書館資料の利用案内を行う。 乳幼児から高齢者まで幅広い世代への読書機会の提供と読書環境の充実を図る。		成果指標		指標名（1）		蔵書1冊当たりの貸出回転数		指標名（2）		区民1人当たりの年間貸出冊数（サービスコーナーを含む） 個人貸出冊数÷杉並区の人口							
区分		単位		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成29年度							
				実績		計画		計画 （目標値）		実績		計画 対計画比（%）							
指標	活動指標（1）		1 冊		2,353,243		2,233,000		2,334,514		2,178,000		2,243,803		2,122,000		103.0		
	活動指標（2）		2 冊		4,770,772		4,900,000		4,716,735		4,900,000		4,628,422		4,900,000		94.5		
	成果指標（1）		3 回転		2.03		2.19		2.02		2.25		2.06		2.31		91.6		
	成果指標（2）		4 冊		8.58		8.81		8.39		8.72		8.17		8.65		93.7		
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		949,334		958,017		943,003		1,038,386		1,006,397		945,206		平成29年度 予算執行率(%)		96.9
	(内) 投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0		特記事項		
	(内) 委託費		7 千円		693,174		698,929		691,004		783,003		763,416		699,373		平成30年4月1日現在 人口566,551人		
	職員数	常勤職員数		8 人		63.54		59.00		62.65		59.00		63.22		60.00		指定管理館6館 債務負担行為（総額） ：1,880,229千円	
		再任用職員数		9 人		18.00		15.00		15.00		17.00		17.00		19.00			
		非常勤職員数		10 人		22.00		25.00		25.00		25.00		22.00		21.00			
	人件費	常勤職員分		11 千円		555,784		516,073		536,409		505,158		543,123		515,460		永福、方南図書館 設定期間：平成28年度 ～平成30年度	
		再任用職員分		12 千円		74,502		62,085		65,850		74,630		75,276		84,132			
		非常勤職員分		13 千円		64,570		73,375		74,275		74,275		64,768		61,824			
	総事業費 (5+11+12+13)		14 千円		1,644,190		1,609,550		1,619,537		1,692,449		1,689,564		1,606,622		宮前、高井戸、成田、 阿佐谷図書館 設定期間：平成28年度 ～平成32年度		
	単位当たりコスト (14÷6)÷1		15 円		699		721		694		777		753		757				
	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0				
	財源	国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0			
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0			
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0					
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		0		0		0		0		0		0					
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		1,644,190		1,609,550		1,619,537		1,692,449		1,689,564		1,606,622					
受益者負担比率 (16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	557
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		管理運営(指定管理者)	6	館	425,073
		図書館サービス業務委託	4	館	185,849
		図書館資料購入・装備	13	館	167,551
		図書館システム管理(図書サービスコーナー等含む)	17	施設	132,822
		その他(情報環境の提供、ブックスタート、子ども読書活動推進ほか)			95,102
(2) 事業実績	<p>あかちゃんタイムなど多彩な取組を行い、乳幼児期の読書活動を支援したほか、各種コンクール事業を通して、子どもたちが読書や資料に親しむ環境を提供する機会を設けるなど、改定した「杉並区子ども読書活動推進計画」に基づく事業を着実に実施しました。また、魅力的な蔵書構築を目指して蔵書規模の適正化を進めるとともに、「杉並区電子情報サービスの対応方針」に基づき、デジタル録音図書(DAISY)や有料データベースの充実、杉並区の行政資料等のデジタルアーカイブ化等を行いました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>昭和25年に区立図書館を設置、その後、14館構想(1地域2館構想)に基づく図書館整備を進め、平成19年には13館目を設置することにより、中央図書館を核とした13館で図書館運営を行っています。平成17年度から民間の創意工夫を活かした運営手法(業務委託・指定管理者制度)を段階的に取り入れ、現在は、13館中10館が民間事業者による運営(一部業務委託)となっています。また、昭和59年に図書館コンピュータシステムを導入、平成13年度には図書館ホームページを開設し、さらに平成24年度に図書館システムを更新し、平成29年度には新しい機器への入れ替え等を行うなど、区民が利用しやすい図書館資料の検索・予約・貸出の仕組みづくりを進めています</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>中央図書館を含む老朽化した図書館の改築・改修や、中高生の専用スペースに対する要望、電子情報サービスの充実に望む声など、区民等から図書館のハード、ソフト両面に関する多様な意見・要望などが寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>中央図書館の改修や永福図書館の移転改築が実施され、それ以外の地域図書館についても引き続き改修・改築計画が進む中、時代の変化を踏まえた図書館の電子情報サービスとして有料データベースやDAISY資料等が充実し、中高生向けのさまざまなサービスを展開していることが見込まれます。また、改定された杉並区子ども読書活動推進計画に基づき、中・高校生協働企画については、全館で行われ読書に対する興味・関心が高まり、乳幼児向けサービスについても、乳幼児期の読書活動の支援が拡充しています。今後は、地域の知的活動意欲の高まりなどにより、他の生涯学習・社会教育施設・小・中学校との連携・協働等による、図書館サービス基本方針にある「学びの場」、「知の共同体」、「楽しい交流空間」の実現が求められます。</p>			
評価と課題	<p>各種の取組により図書館サービスの充実に努めましたが、当該年度中に中央図書館の燻蒸作業や図書館システム更新作業に伴い全館臨時休館を実施したこと等から、指標である「蔵書1冊当たりの貸出回転数」、「区民1人当たりの年間貸出冊数」は目標には届きませんでした。今後も、「杉並区子ども読書活動推進計画」に基づく取組のほか、デジタル録音図書や有料データベースの充実など、区民にとって魅力ある図書館サービスを推進し、指標の目標達成を図っていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・対象の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成25年3月に策定した「杉並区立図書館サービス基本方針」に基づき、図書館運営状況等に係る評価を運用しながら、時代のニーズを的確に反映した図書館サービスの向上に努めていきます。また、平成28年度に策定した「図書館の電子情報サービスへの対応方針」を踏まえ、実行計画に基づいたデジタル録音図書(DAISY)の充実やデジタルアーカイブ化の推進を図ります。これらの規定事業については、平成31年度に行われる中央図書館の改修工事により、中央図書館で実施している事業の一部が休止されることで経費が一定程度削減されることが見込まれます。</p>			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00697）

事務事業名称 次世代型科学教育の推進			款 07	項 05	目 01	事業 014	整理番号 558				
現担当課名 生涯学習推進課		係名 社会教育センター		連絡先電話番号 4712		昨年度整理番号 544					
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業					
事業開始 平成27年度		実行計画事業 目標 05 施策 29 計画事業 05			主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
平成29年度担当課名 生涯学習推進課							事業評価区分 一般				
事務事業の概要	対象 区内在住・在学の児童・生徒、一般区民、区内団体		根拠法令等 (1) 教育基本法第12条								
			(2)								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） 広く子どもから大人まで科学に親しみ、科学に関する多様な体験や触れ合う機会を地域に向向いて提供する。交流自治体や区民、NPO、民間事業者等との協働により、相互のつながりやかかわり合いを促進する。ICTやデジタル技術などを活用した次世代型の科学教育を推進する。		活動指標 指標名(1) 移動式プラネタリウムの開催日数 指標説明 指標名(2) サイエンスフェスタの出席団体数								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段） 移動式プラネタリウムの上映や、北海道名寄市と協働で天文台車による観望会を実施する。最新の科学にふれる展示会や、区内の科学教育関係団体・企業・学校等で構成する実行委員会による「サイエンスフェスタ」を開催する。科学に関する講座・講演会や、小中学生を対象にした夏休み科学講座「フューチャーサイエンスクラブ」を実施する。		成果指標 指標名(1) 移動式プラネタリウムの参加者数 指標説明 指標名(2) サイエンスフェスタ参加者数 指標説明								
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度	平成29年度 予算執行率(%) 65.5 特記事項 実施方法の工夫により効率的な運用を図ったことから、科学講座等の委託費及び謝礼金の執行が抑えられ、全体の執行率が90%を下回りました。	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1 日	19	20	24	20	26	25	130.0		
	活動指標(2)	2 団体	24	27	26	26	26	26	100.0		
	成果指標(1)	3 人	2,781	2,800	3,565	3,200	3,175	3,200	99.2		
	成果指標(2)	4 人	2,018	2,000	2,286	2,300	2,212	2,300	96.2		
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	17,535	14,453	12,002	16,177	10,598	16,903			
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費	7 千円	11,567	7,849	6,731	8,212	5,512	8,529			
	職員数	常勤職員数	8 人	2.10	1.90	2.10	1.90	2.10	2.10		
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	10 人	1.70	2.10	2.40	2.40	2.40	2.00		
	人件費	常勤職員分	11 千円	18,369	16,619	17,980	16,268	18,041	18,041		
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0		
		非常勤職員分	13 千円	4,990	6,164	7,130	7,130	7,066	5,888		
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	40,894	37,236	37,112	39,575	35,705	40,832			
	単位当たりコスト (14÷6÷1)	15 円	2,152,316	1,861,800	1,546,333	1,978,750	1,373,269	1,633,280			
	財源	受益者負担分	16 千円	30	100	85	100	72	100		
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18 千円	871	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	901	100	85	100	72	100			
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	39,993	37,136	37,027	39,475	35,633	40,732			
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.1	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2				

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		558		
		内 容	規模	単位	事業費（千円）	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	新たな天文学習事業の実施	5,350	人	3,309	
		科学博覧会の実施	4,905	人	4,875	
		サイエンスコミュニケーション事業の実施	1,000	人	2,414	
		その他（ ）				
	(2) 事業実績	<p>科学教育関係団体等と連携し、最先端の科学を身近な場所で提供する出前型・ネットワーク型の科学教育事業の充実を図りました。天文学習事業では、民間事業者との協働による移動式プラネタリウム上映、また北海道名寄市の移動式天文台車による観望会を実施しました。科学博覧会事業では、科学技術館巡回展示や、科学団体等が多様な体験型ブースを出展する「第3回すぎなみサイエンスフェスタ」を実施しました。サイエンスコミュニケーション事業では、小中学生対象の科学講座「フューチャーサイエンスクラブ」など複数のワークショップを実施しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成27年度末で杉並区立科学館が閉館しました。科学館が担ってきた科学教育事業のうち、生涯学習分野については社会教育センターに移管されました。移管に伴い、事業の実施にあたっては、地域施設に向き、区民、NPO、民間事業者等との協働を重視することとしています。また、次世代型科学教育の新たな拠点づくりの検討を、施設再編整備計画の杉並第四小学校跡地活用検討の中で進めています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>平成29年度に実施した、各種事業に参加した子どもから大人までのアンケートによると、「楽しかった・面白かった」「また参加したい」といった多くの感想が寄せられています。また、サイエンスフェスタの出展者からは、実行委員会等を重ねることで、団体同士の交流が深まり、互いに切磋琢磨する機会として好意的に受け止められ、来年度の開催に向けた提案も出されています。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>世代を超えて多くの区民が身近な場所で科学に親しみ、生涯学び続けるためには、科学教育関係団体等と協働し連携を図りながら、常に最先端の科学技術や情報を取り入れていく仕組みや、科学に興味・関心のある区民が交流する機会を設けるなど、環境整備を図っていくことが重要になります。次世代型科学教育の新たな拠点づくりは、施設再編整備計画の杉並第四小学校跡地活用検討の中で、新たな「出前型・ネットワーク型」科学教育事業の支援機能の充実に向けて、広く区民の意見を聞きながら方針を決定していきます。</p>				
評価と課題	<p>出前型・ネットワーク型科学教育事業は、児童館でのプラネタリウム上映や巡回展示会など、身近な地域の施設で触れることができる科学という利点を最大限に生かしてきたことで、多くの区民に科学に接する機会を設けることができました。第3回すぎなみサイエンスフェスタは大盛況のうちに終えることができました。実行委員会の意識が更に高まったことで、次回に向け、終了直後から更なる改善を図る話し合いを始めています。これからの次世代型科学教育事業を充実させていくためには、これまで以上に築き上げた科学教育関係団体等とのネットワークを強め、それぞれのスキルや見識を向上させていくことが重要です。また、杉並第四小学校跡地を活用した新たな拠点づくりについて、方針決定に向けた検討を着実に進めていきます。</p>					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>科学教育における学びの循環を進めるため、「すぎなみサイエンスフェスタ」を中心に各種団体、企業、学校等とのネットワークを構築し、さらに連携・協働を広げることで、身近な地域施設で科学技術を楽しく学ぶことができる事業展開を図っていきます。また、学校教育部門との連携・協働による事業の充実を図っていきます。</p>				

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00529)

事務事業名称		社会教育センター維持管理				款	07	項	05	目	02	事業	001	整理番号	559				
現担当課名		生涯学習推進課		係名		社会教育センター		連絡先電話番号		4712		昨年度整理番号		545					
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業					
事務事業の概要	事業開始		平成元年度																
	平成29年度担当課名		生涯学習推進課								事業評価区分		施設維持管理						
	対象		社会教育センター		根拠法令等		(1)		社会教育法第3、5条										
							(2)		杉並区立社会教育センター条例										
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		区民の学習の場として、安全で快適に活動できる施設として良好な環境を維持し利用者に提供する。		活動指標		指標名(1)		施設利用回数										
						指標説明													
						指標名(2)													
						指標説明													
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		利用者に対し、社会教育の学習の場を提供するとともに、一般区民の利用施設として快適で安全な環境を図るため、修繕を含めた施設の適正な維持及び管理を行う。		成果指標		指標名(1)													
						指標説明													
						指標名(2)													
						指標説明													
区分		単位		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成29年度							
				実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)			
指標	活動指標(1)		1 回		5,324		10,914		5,896		10,914		5,307		10,914		48.6		
	活動指標(2)		2																
	成果指標(1)		3																
	成果指標(2)		4																
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		64,280		77,665		67,838		71,861		68,388		82,412		平成29年度 予算執行率(%) 95.2		
	(内)投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0		特記事項		
	(内)委託費		7 千円		46,942		51,218		47,317		46,460		46,366		57,392				
	職員数	常勤職員数		8 人		0.90		0.80		0.90		0.80		0.90		1.00			
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00			
		非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00			
	人件費	常勤職員分		11 千円		7,872		6,998		7,706		6,850		7,732		8,591			
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		0		0		0			
		非常勤職員分		13 千円		0		0		0		0		0		0			
	総事業費(5+11+12+13)		14 千円		72,152		84,663		75,544		78,711		76,120		91,003				
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15 円		13,552		7,757		12,813		7,212		14,343		8,338				
	財源	受益者負担分		16 千円		23,166		30,873		32,811		0		0		0			
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0			
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0			
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0					
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		23,166		30,873		32,811		0		0		0					
差引:一般財源(14-20)		21 千円		48,986		53,790		42,733		78,711		76,120		91,003					
受益者負担比率(16÷14)		22 %		32.1		36.5		43.4		0.0		0.0		0.0					

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 559

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	施設保守管理委託	1	所	46,366
		光熱水費	1	所	13,328
		施設維持経費（修繕費、消耗品の購入、使用料等）	1	所	8,694
	(2) 事業実績	<p>ホールの居住性・安全性向上のため、例年通りホール椅子の貼替修繕を計画的に実施した他、消防設備点検における指摘事項の対応や、展示室の放送設備の修繕、トランスの高圧絶縁油の交換等を行いました。日々経年劣化が進む施設の安全面に配慮しながら、利用者が支障なく使用できるよう可能な限り修繕を施し、適切な維持管理に努めています。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
評価と課題	<p>施設全体の老朽化がさらに進み、建物点検や消防点検の指摘事項などは、改修しても翌年には新たな指摘箇所が発生してしまうことが続いています。ホールの音響設備は、平成30年度にデジタル化への工事を実施します。それ以外のホール照明・舞台設備等は開館時に導入したシステムが残っており、故障が多いばかりでなくデジタル化などの施設更新が遅れています。舞台公演中に、老朽化に起因する事故の発生が起きないように、早急な対応が必要です。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00530)

事務事業名称		郷土博物館の維持管理			款	07	項	05	目	02	事業	002	整理番号	560	
現担当課名		生涯学習推進課			係名			郷土博物館			連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	546
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成元年度													
	平成29年度担当課名	生涯学習推進課									事業評価区分	施設維持管理			
	対象	博物館利用者			根拠法令等	(1)		博物館法							
						(2)		杉並区立郷土博物館条例							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	歴史・文化資料を適切な状態で保存・展示し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			活動指標	指標名(1)		開館日数							
					指標説明										
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	本館、分館、西田小学校郷土資料展示室、松ノ木遺跡、館外収蔵庫4か所の維持管理を行う。			成果指標	指標名(1)										
					指標説明										
					指標名(2)										
					指標説明										
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 日	296	294	294	294	294	294	100.0						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	34,728	45,161	40,130	35,181	32,201	38,046	平成29年度予算執行率(%)	91.5					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	22,633	30,338	27,330	23,587	21,206	25,398							
	職員数	常勤職員数	8 人	1.01	1.00	1.01	1.00	1.05	1.00						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	8,834	8,747	8,648	8,562	9,021	8,591						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	43,562	53,908	48,778	43,743	41,222	46,637							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	147,169	183,361	165,912	148,786	140,211	158,629							
	財源	受益者負担分	16 千円	31	40	24	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	31	40	24	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	43,531	53,868	48,754	43,743	41,222	46,637							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	560	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単 位	事業費（千円）
		施設の保守管理委託	2	館	22,253	
		光熱水費	2	館	7,993	
		施設の維持管理	2	館	1,116	
		施設の整備	2	館	839	
		その他（ ）				
(2) 事業実績	清掃業務委託、機械設備保守点検業務委託、収蔵庫燻蒸作業委託などを行いました。 また、本館空調設備のデジタル指示調節器交換、分館防犯カメラの修理、分館空調換気扇部品交換などを行いました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題	開館29年となる本館は、建物や設備の老朽化が進んでいます。職員の手による不良個所の発見や補修は行っていますが、いずれ大規模な修繕が必要となります。また、増加する収蔵資料を学校施設に保管していましたが、学童保育への対応など、学校の状況も変化しており、平成28年度には高三小の収蔵資料を旧若杉小に移すなど、資料の保存や活用が難しくなっています。もとより学校の余裕教室は一時的な保管場所であることから、恒久的な収蔵場所の確保が課題です。一方、展示室については、重要文化財級の資料に対応できる展示環境の整備が課題です。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
		II 事業の改善の方向性				
今後の進め方						

# 平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00531)

事務事業名称		図書館施設維持管理				款	07	項	05	目	02	事業	003	整理番号	561		
現担当課名		中央図書館		係名		管理係		連絡先電話番号		4715		昨年度整理番号		547			
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業			
事務事業の概要	事業開始		昭和27年度														
	平成29年度担当課名		中央図書館								事業評価区分		施設維持管理				
	対象		図書館利用者及び団体(学校、保育園、ゆうゆう館など)		根拠法令等		(1)		図書館法								
							(2)		杉並区立図書館条例								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		図書館利用者等に、安全で快適な施設利用環境を提供する。		活動指標		指標名(1)		開館日数(全館累計)								
						指標説明											
						指標名(2)		利用者数(全館累計)									
						指標説明											
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		施設の適正な維持管理を行い、図書館利用者等の安全性及び利便性の向上を図る。		成果指標		指標名(1)											
						指標説明											
						指標名(2)											
						指標説明											
区分		単位		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成29年度					
				実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		計画			
														対計画比(%)			
指標	活動指標(1)		1 日		4,331		4,324		4,312		4,248		4,245		4,334		
	活動指標(2)		2 人		2,806,245		3,110,000		2,761,796		3,130,000		2,775,679		3,160,000		
	成果指標(1)		3														
	成果指標(2)		4														
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		150,883		164,286		141,241		167,146		151,443		161,600		
	(内)投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0		
	(内)委託費		7 千円		91,033		92,308		84,386		99,771		93,152		93,545		
	職員数	常勤職員数		8 人		4.49		5.00		5.51		4.00		5.45		4.00	
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
		非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
	人件費	常勤職員分		11 千円		39,274		43,735		47,177		34,248		46,821		34,364	
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		0		0		0	
		非常勤職員分		13 千円		0		0		0		0		0		0	
	総事業費(5+11+12+13)		14 千円		190,157		208,021		188,418		201,394		198,264		195,964		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15 円		43,906		48,108		43,696		47,409		46,705		45,216		
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0	
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0	
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0	
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0			
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		0		0		0		0		0		0			
差引:一般財源(14-20)		21 千円		190,157		208,021		188,418		201,394		198,264		195,964			
受益者負担比率(16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			

# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	561
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		設備保守管理委託	7	館	92,613
		光熱水費	7	館	42,535
		施設修繕・消耗品等購入	7	館	10,422
	その他（賃借料ほか）			5,873	
(2) 事業実績	中央図書館及び地域図書館における光熱水費の支払い業務のほか、清掃業務委託や警備委託などの施設管理業務、事務機器等の賃借、施設の修繕などを実施しています。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
評価と課題	老朽化した中央図書館及び地域図書館の実情に即して、関係各課と連絡・調整を行い適切な維持管理に努めています。 なお、老朽化施設の改築・改修については、今後も実行計画及び区立施設再編整備計画等に基づき、蔵書規模の適正化の取組や図書館の電子情報サービスの充実等と合わせ、計画的に対応してまいります。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性			



# 平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	562
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		地盤調査・測量委託			
		基本設計委託			7,162
		実施設計委託			6,720
		その他（消耗品等）			276
(2) 事業実績	<p>建築予定地の地盤調査・測量と、(仮称)杉並区立永福三丁目複合施設の基本設計を行い、完了の後、実施設計に着手しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>改築を行う敷地の測量調査及び地盤調査を行いました。施設の設置と基本設計に関する住民説明会をそれぞれ開催し、近隣との調整を図っています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>改築に当たっては、現在の永福図書館の蔵書数や閲覧スペース等の機能が損なわれることなく、より良好なものになることが求められています。複合施設内の施設相互利用によるサービスの拡充が求められています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>(仮称)杉並区立永福三丁目複合施設が竣工し、永福図書館と地域コミュニティ施設を一体的に利用した、良質な住民サービスの提供が実現されています。</p>			
	評価と課題	<p>図書館の蔵書を、複合化する地域コミュニティ施設で気軽に利用できるように環境を整備します。また、図書館も含め、複合施設を一体的かつ効果的に運用ができるよう、運営のあり方についても検討していきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>実行計画に基づき、移転・改築事業を進めるため、事業費は増大します。</p>			